

平成27年度
福祉の仕事、職場を目指す学生の意識調査
「報 告 書」

社会福祉法人 福島県社会福祉協議会

はじめに

現在、少子高齢化の進行等の理由から生産年齢人口が減少し、労働力人口も減少が見込まれる一方、近年の景気回復に伴い、他の産業分野における採用意欲も増大しています。福祉・介護サービス分野においては人材の確保の状況が深刻化しています。

本県の福祉・介護人材の状況についても、いまだに震災・原発事故の影響もあり地域や職種によっては人材の確保が非常に困難となっており、本会が行っている無料職業紹介事業においても、有効求人数が有効求職者数を上回る、いわゆる人手不足の状態が続いています。

また、昨年6月には厚生労働省から、2025年に介護職員が全国で約38万人不足するとの推計を発表され、本県においても約6千人が不足するとの見込みとなっており、福祉人材の確保は、喫緊の課題でもあり将来に向けての課題ともなっております。

このような状況を踏まえ、本会では、これから福祉分野への就労を希望する学生の考え方、ニーズを把握し、社会福祉施設や事業所においての人材の確保や、職員の定着に役立てていくために本調査を実施し、その結果を取りまとめ報告書を作成しましたのでご活用いただければ幸いです。

最後に、お忙しい中この調査にご協力をいただきました、福祉養成校の学生の皆様及び担当者の方に御礼申しあげますとともに、今後とも関係の皆様のご理解、ご協力をいただきますようお願い申しあげます。

平成28年3月

社会福祉法人
福島県社会福祉協議会

— 目次 —

I	調査の概要	1
II	調査結果のまとめ	2
III	調査結果	
	問 1. (1) 回答者の性別	4
	(2) 回答者の年齢	5
	問 2. 回答者の所属と学年	6
	問 3. 回答者の学科	7
	問 4. 福祉の仕事を目指そうと思った時期	8
	問 5. 福祉を学ぼうと思った理由	9
	問 6. 入学するにあたって課題となったこと	10
	問 7. 福祉の仕事に対するイメージ	
	(1) 仕事の魅力ややりがい	11
	(2) 安定性・将来性	12
	(3) 社会的地位	13
	(4) 仕事内容	14
	(5) 賃金	15
	(6) 休日	16
	(7) 職場のイメージ	17
	問 8. 出身地域と就職希望地域	
	(1) 出身地域・就職希望地域	18
	(2) 出身地域別就職希望地域	20
	問 9. 将来仕事をしたい分野	24
	問 10. 将来仕事をしたい職種	25
	問 11. 希望する雇用形態	27
	問 12. 職場を選ぶとき重視すること	28
	問 13. 最低必要な初任給の金額	29
	問 14. 最初に働いた職場で定年まで働きたいか	30
	問 15. 福祉の職場への就職活動に必要な情報	31
	問 16. 就職活動に最も活用していきたいもの	32
	問 17. 卒業後福祉の職場に就職を希望するか	33
	問 18. 施設実習においての課題や悩み、不安等（自由回答）	34
	各設問「その他」の回答内容一覧	37
V	調査票	42

I 調査の概要

1. 調査の目的

少子高齢化の進行等のもとで、労働人口の減少が見込まれる中、福祉の職場における人材の確保が困難な状況となっております。

このような状況を踏まえ、福祉の職場を目指す学生の考え方（意識）を把握し、今後の求職相談、求人側の理解促進、求人開拓等に繋げていくことを目的に実施します。

2. 実施主体 社会福祉法人 福島県社会福祉協議会

3. 調査対象

「福祉人材養成校の学生」

4. 調査期間 平成27年4月1日（水）～平成27年7月31日（金）

5. 調査方法

（1）「福祉人材養成校の学生に対する就職動向説明会」上における10分程度の時間で記入。

（2）動向説明会を実施しない養成校については郵便で実施。

6. 調査票回収状況

対象者数	: 1,559 名
有効回収数	: 1,186 件
回収率	: 76.1%

Ⅱ 調査結果のまとめ

1. 学生の状況について

(1) 性別・年齢・所属 (4 ページ~7 ページ)

回答者の性別は「女性」が 78.8%と高い比率となった。学科別にみると「保育系」の女性が占める比率が 90%以上と非常に高くなっているが、それ以外は「介護系」で 54%「相談援助系」で 64.4%となっている

回答者の年齢をみると、「10 代」が半数を占めており、「22 歳」までで 94%を占めている。一方「30 代」以上の回答者も若干在籍していることがわかる。

所属については、保育系が「短期大学」、介護系が「専門学校」、相談援助系が「大学」と回答した学生が多かった。

(2) 出身地・就職希望地域 (18 ページ~19 ページ)

出身地については「県中」が 26.4%と最も多く、次いで「県北」、「県外」の順となった。

就職希望地域については、「県外」が 25%と最も多く次いで「県中」、「県北」の順となっており、学科別にみても介護系以外は就職希望地域を「県外」と回答した割合が最も高くなっている。

2. 福祉職を目指すきっかけについて (8 ページ~10 ページ)

(1) 福祉の仕事を目指そうと思った時期

「高等学校」が約 4 割と最も高く次いで「中学校」、「小学校」の順となった。

また、学科別にみても全ての学科で「高等学校」の割合が最も高くなっている。

(2) 福祉を学ぼうと思った理由

「児童とかかわる仕事がしたかったから」との回答が 51.9%と最も高く、次いで「人とかかわる仕事がしたかったから」の順となっており、その 2 つの回答が他の回答と比較し割合が高くなっている。

また、介護系については「高齢者とかかわる仕事がしたかったから」との回答が最も高かった。

(3) 入学するにあたっての課題

「学費」と答えた割合が 40.7%と最も高く、「福祉の仕事の将来の見通し」「通学距離」の順となっているが、「特になし」の回答も 29.7%と 2 番目に高い割合となった。

3. 福祉の仕事のイメージについて (11 ページ~17 ページ)

(1) 仕事の魅力・やりがい、安定性・将来性、社会的地位

魅力ややりがいについては「ある」と回答した割合は 85.1%と非常に高く、特に保育系では 9 割を超える割合となった。

一方、安定性・将来性については、「ある」が 38.1%と半数を下回っており、「ない」との回答も若干見られた。

また、社会的地位についても、「低い」が 20.6%と「高い」の回答割合を上回った。

(2) 仕事内容・賃金・休日

仕事内容については「きつい」の回答が 63.5%と最も高く「やさしい」との回答が 0.3%と非常に低い割合となった。これらの割合は学科別集計においてもおよそ同じ程度の割合となっている。

賃金については「安い」の回答が 62.5%と高く「高い」が 2.4%となった。学科別にみると保育系が他の学科と比べ「安い」と回答した割合が高くなっている。

休日については「どちらともいえない」の割合が 53.1%と最も高く、次いで「少ない」が 43.3%、「多い」が 2.8%となった。

(3) 職場のイメージ

「明るい」との回答が 47.8%となったが、「どちらともいえない」も同程度の割合となった。一方「暗い」と回答した割合は 3.5%と低くなっている。

4. 将来の希望等について (24 ページ~33 ページ)

(1) 将来仕事をしたい分野・職種

分野については「児童（保育）」が 63.6%と最も高く次いで「児童（保育以外）」、「高齢」の順となっているが、学科別にみると介護系と相談援助系では「高齢」、保育系では「児童（保育）」を希望している割合が最も高くなっている。

職種については「保育職」が 61.2%と最も高く次いで「介護職」「相談職」となった。学科別では介護系では「介護職」、保育系では「保育所」、相談・援助系「相談職」がそれぞれ最も高い割合となった

(2) 希望雇用形態・職場を選ぶ際のポイント・希望する初任給

希望雇用形態は「正規職員希望」が 83.4%と最も高く「条件次第で非正規でもよい」が 11.5%となった。

職場を選ぶ際に重視することについては、「収入が安定している」が 56.4%と最も高く、次いで、「仕事の魅力、やりがいがあること」が 53.4%「職場の人間関係が良好」が 46.9%となった。

最低必要な初任給の額について「15 万円以上 16 万円未満」との回答割合が 29.6%と最も高くなっており、学科別にみても全ての学科においてこの範囲の割合が最も高くなった。

(3) 最初に働いた場所で定年まで働きたいか

「働きたいと思う」と「わからない」との回答割合が 42.2%と同じであった一方「働けるつもりはない」が 14.2%となった。

(4) 就職活動に必要な情報・活用していきたいもの

「希望する分野、職種の募集状況」の割合が 44.2%と最も高く、次いで「どこにどのような職場があるのか」が 28.9%となった。

また、活用していきたいものとしては、「学校の就職課（先生等の意見）」が 53%と最も高く、次いで「実習・ボランティア」、「インターネット」の順となった。

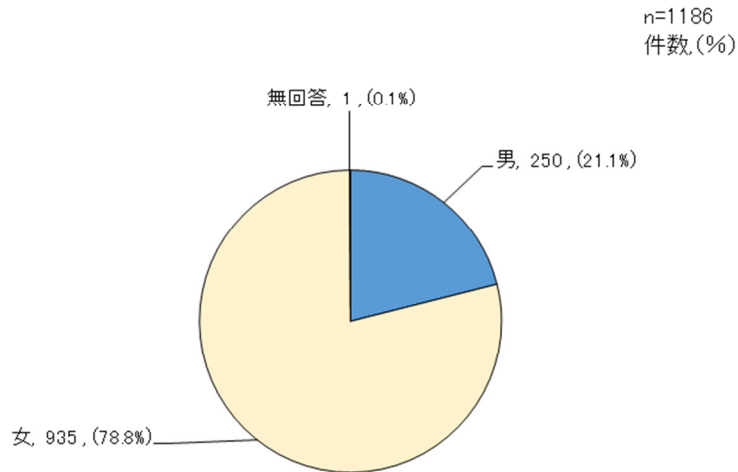
(5) 卒業後福祉の職場を希望するか

「希望している」が、71.1%と最も高く、「希望しない」が 5.0%となった。学科別では他の学科と比較し介護系が「希望している」割合が最も高く 81.5%となった。

Ⅲ 調査結果

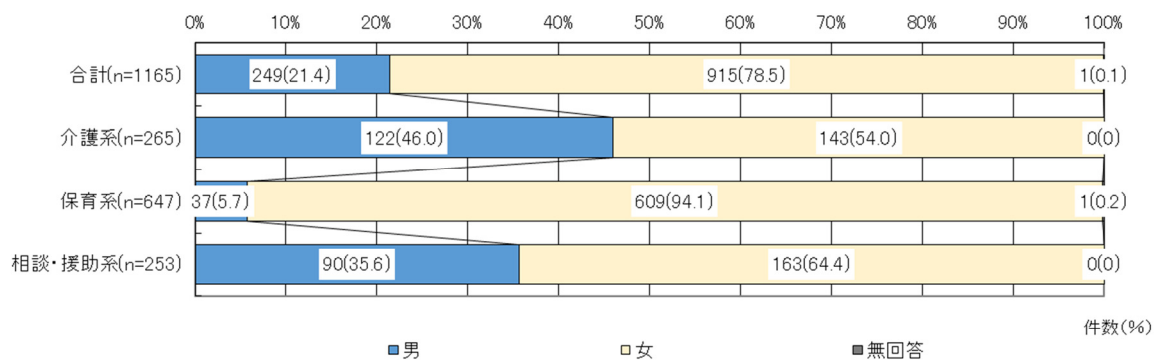
問 1-(1) あなたの「性別」は？(○は1つ)

図表 1-(1)-1 単純集計



回答者の性別は、「女性」が 78.8%と高い比率となった。

図表 1-(1)-2 学科別クロス集計



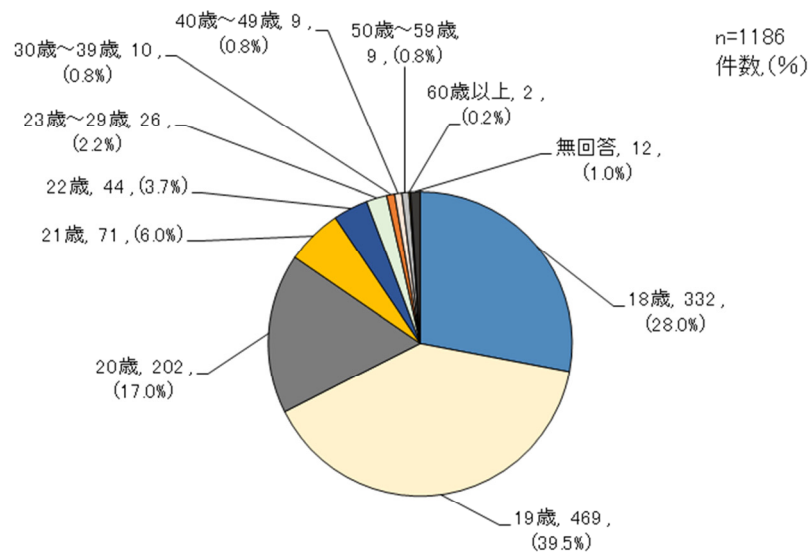
回答者の学科からみた男女の比率は、介護系、保育系、相談・援助系すべてで「女性」の割合が高かった。介護系では「男性」が半数近くだったが、保育系では 94.1%が「女性」であった。

* クロス集計について

「学科」の設問に「その他」と回答した回答者が21名いたため、単純集計とクロス集計の合計回答者数には違いがある。そのため、全ての設問の単純集計とクロス集計の合計の集計結果には違いがある。(問 3 回答者の学科 参照)

問 1-(2) あなたの「年齢」は？

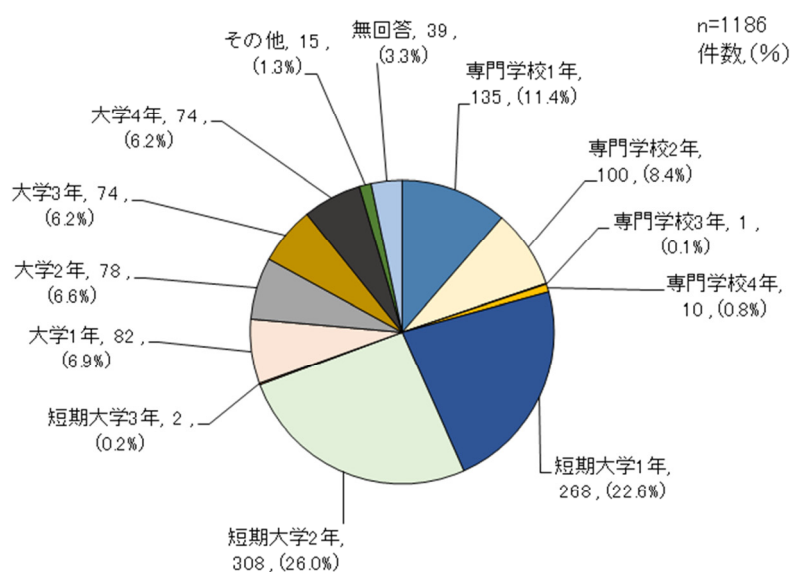
図表 1-(2)-1 単純集計



回答者の年齢は、「19 歳」が 39.5%と最も多く、次いで「18 歳」が 28.0%、「20 歳」が 17.0%であった。
22 歳までが全体の 94.2%を占めるが、30 歳代、40 歳代、50 歳代、60 歳代の回答者もいた。

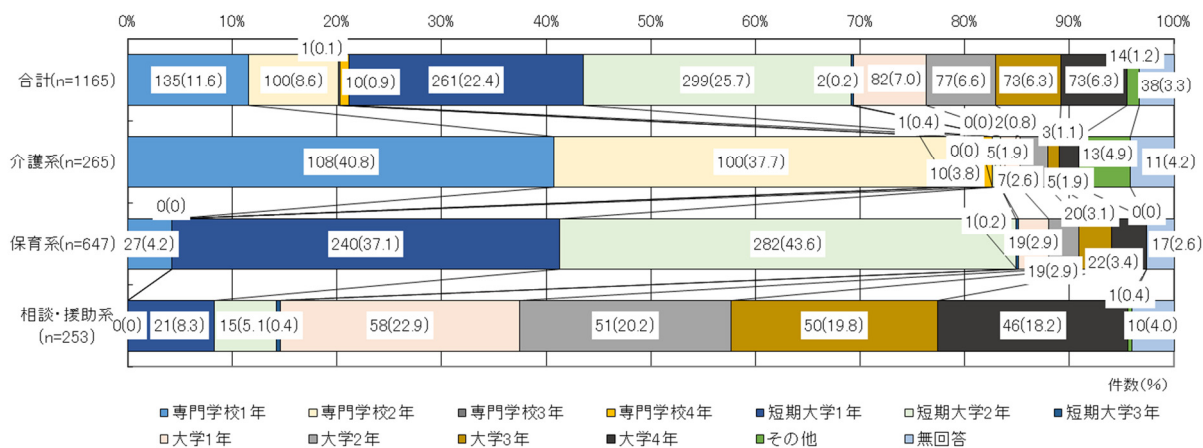
問 2 あなたの「所属」と「学年」は？（○は1つ）

図表 2-1 単純集計



「短期大学 2 年」が 26.0%と最も多く、ついで「短期大学 1 年」が 22.6%であった。「専門学校」の学生は合わせて 20.7%であり、回答者の 69.5%が専門学校および短期大学の学生であった。

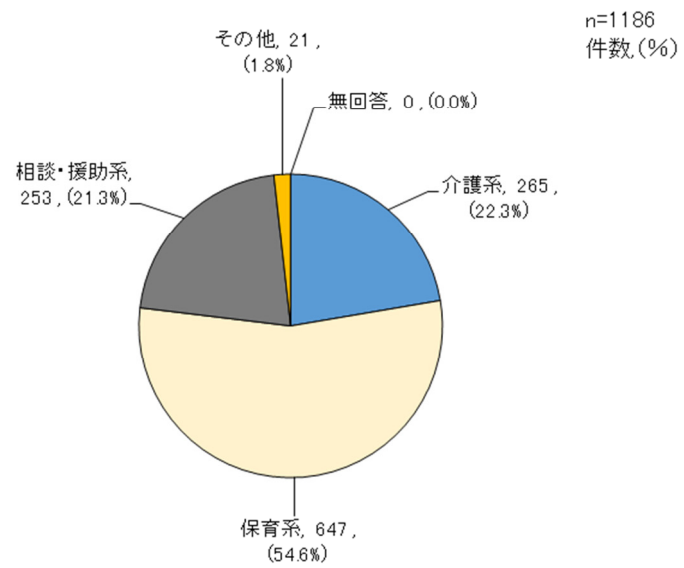
図表 2-2 学科別クロス集計



介護系は「専門学校」、保育系は「短期大学」、相談・援助系は「大学」の学生が多かった。

問 3 あなたの所属している「学科」は？（○は1つ）

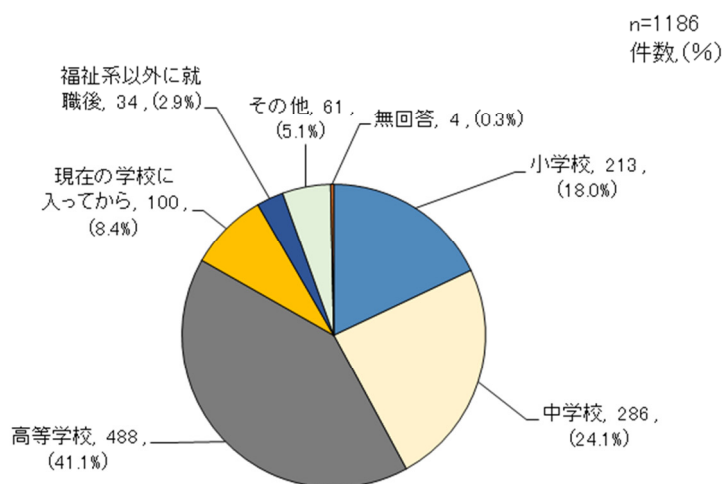
図表 3-1 単純集計



回答者を学科別にみると、「保育系」が 54.6%と最も多く、次いで「介護系」が 22.3%、「相談・援助系」が 21.3%であった。

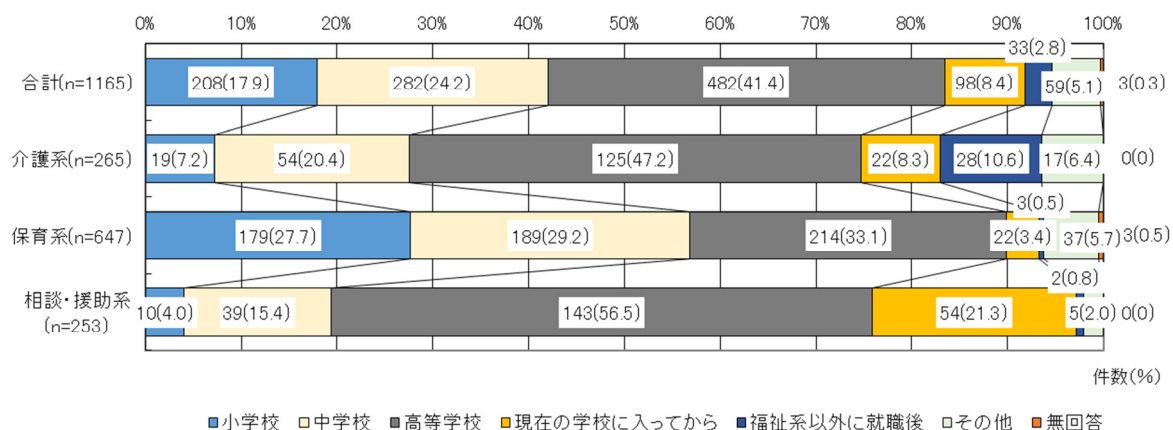
問 4 福祉の仕事を目指そうと思った時期は？（○は1つ）

図表 4-1 単純集計



回答者が福祉の仕事を目指そうと思った時期は「高等学校」の割合が 41.1%と最も高く、次いで「中学校」が 24.1%、「小学校」が 18.0%であった。

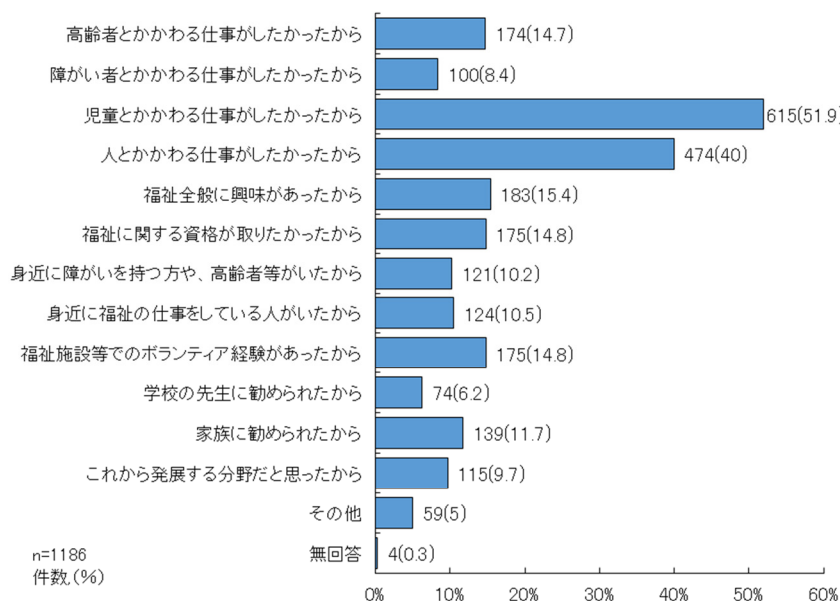
図表 4-2 学科別クロス集計



学科別でみると、すべての学科で「高等学校」の割合が高いが、保育系では「中学校」(29.2%)、「小学校」(27.7%)の割合が高く、相談・援助系では「現在の学校に入ってから」(21.3%)の割合が高い。介護系では 10.6%が「福祉系以外に就職後」と回答した。

問 5 福祉を学ぼうと思った理由は？（○は複数可）

図表 5-1 単純集計



回答者が福祉を学ぼうと思った理由は、「児童とかかわる仕事をしたかったから」が 51.9%と最も高く、次いで「人とかわる仕事をしたかったから」が 40.0%と高かった。

図表 5-2 学科別クロス集計

上段: 度数 下段: %	合計	高齢者とかかわる仕事をしたかったから	障がい者とかかわる仕事をしたかったから	児童とかかわる仕事をしたかったから	人とかわる仕事をしたかったから	福祉全般に興味があったから	福祉に関する資格が取りたかったから	身近に障がい者や、高齢者等がいたから	身近に福祉の仕事をしている人がいたから	福祉施設等でのボランティア経験があったから	学校の先生に勧められたから	家族に勧められたから	これから発展する分野だと思ったから	その他	無回答
合計	1165	170	95	603	466	179	174	118	124	171	74	139	113	56	4
	100	14.6	8.2	51.8	40	15.4	14.9	10.1	10.6	14.7	6.4	11.9	9.7	4.8	0.3
介護系	265	110	30	15	90	54	54	65	39	51	19	37	45	18	-
	100	41.5	11.3	5.7	34	20.4	20.4	24.5	14.7	19.2	7.2	14	17	6.8	-
保育系	647	17	40	532	274	54	57	20	51	90	40	74	31	28	4
	100	2.6	6.2	82.2	42.3	8.3	8.8	3.1	7.9	13.9	6.2	11.4	4.8	4.3	0.6
相談・援助系	253	43	25	56	102	71	63	33	34	30	15	28	37	10	-
	100	17	9.9	22.1	40.3	28.1	24.9	13	13.4	11.9	5.9	11.1	14.6	4	-

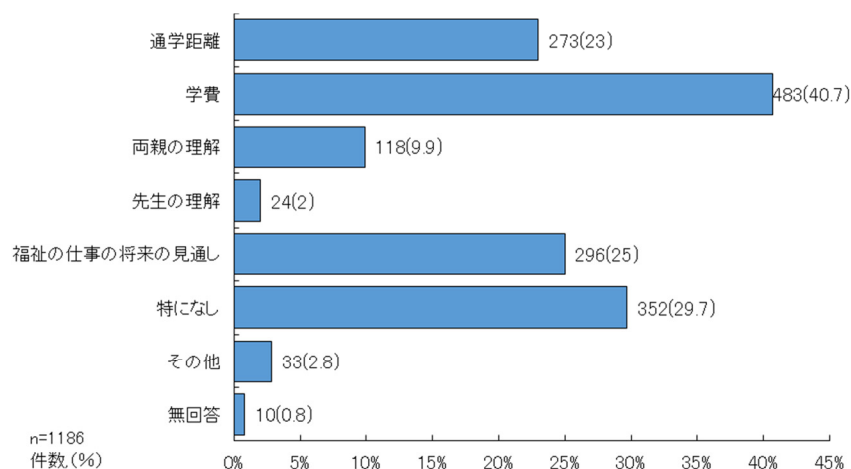
学科別にみると、介護系では「高齢者とかかわる仕事をしたかったから」が 41.5%と最も高く、次いで「人とかわる仕事をしたかったから」が 34.0%と高かった。

保育系では、「児童とかかわる仕事をしたかったから」が 82.2%と最も高く、次いで「人とかわる仕事をしたかったから」が 42.3%と高かった。

相談・援助系では、「人とかわる仕事をしたかったから」が 40.3%と最も高く、次いで「福祉全般に興味があったから」が 28.1%と高かった。

問 6 入学するにあたって課題となったことは？（〇は複数可）

図表 6-1 単純集計



現在の学校に入学するにあたって課題になったことは、「学費」が 40.7%と最も高く、次いで「特になし」が 29.7%であった。「福祉の仕事の将来の見通し」と回答したのは 25.0%であった。

図表 6-2 学科別クロス集計

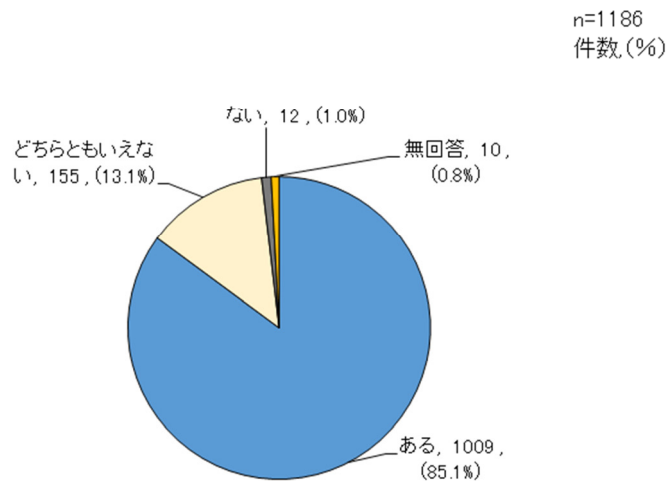
上段:度数 下段:%	合計	通学距離	学費	両親の理解	先生の理解	福祉の仕事 の将来の見 通し	特になし	その他	無回答
合計	1165	271	481	116	24	295	340	31	9
	100	23.3	41.3	10	2.1	25.3	29.2	2.7	0.8
介護系	265	70	109	25	9	74	68	17	4
	100	26.4	41.1	9.4	3.4	27.9	25.7	6.4	1.5
保育系	647	162	274	66	10	138	202	10	3
	100	25	42.3	10.2	1.5	21.3	31.2	1.5	0.5
相談・援助系	253	39	98	25	5	83	70	4	2
	100	15.4	38.7	9.9	2	32.8	27.7	1.6	0.8

学科別にみると、すべての学科で「学費」が最も高いが、介護系と相談・援助系では次いで「福祉の仕事の将来の見通し」が高く、保育系では「特になし」が高かった。

問 7 福祉の仕事にどのようなイメージを持つか？(○は1つ)

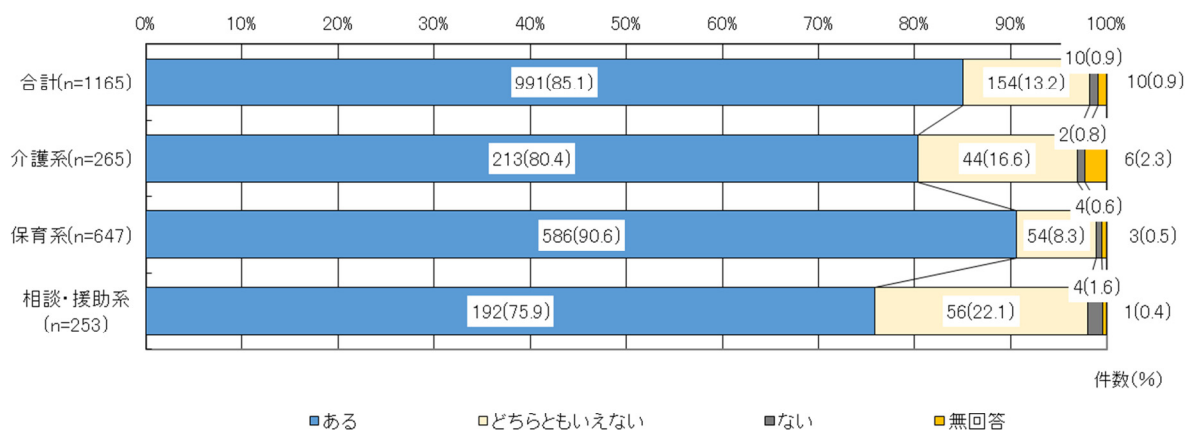
(1) 仕事の魅力ややりがいについて

図表 7-(1)-1 単純集計



福祉の仕事のイメージについて、魅力ややりがいが「ある」と回答した割合は 85.1%であった。「どちらともいえない」が 13.1%、「ない」は 1.0%であった。

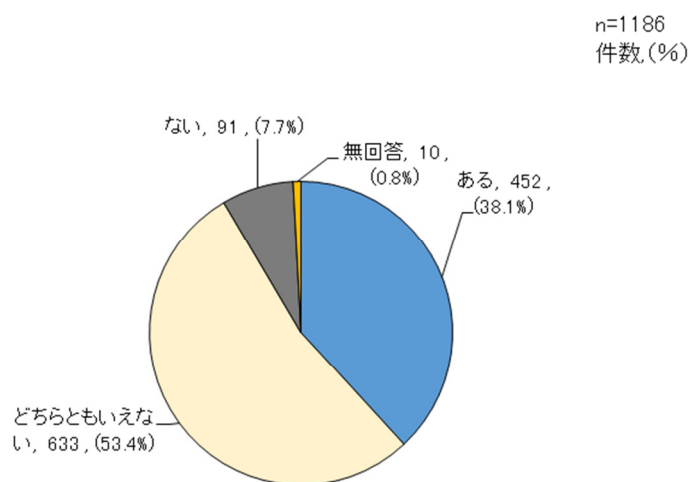
図表 7-(1)-2 学科別クロス集計



学科別にみると、全ての学科で魅力ややりがいが「ある」と回答した割合が高いが、特に保育系では 90.6%と高い。相談・援助系では、「どちらともいえない」(22.1%)、「ない」(1.6%)と回答した割合が、他学科と比較して高かった。

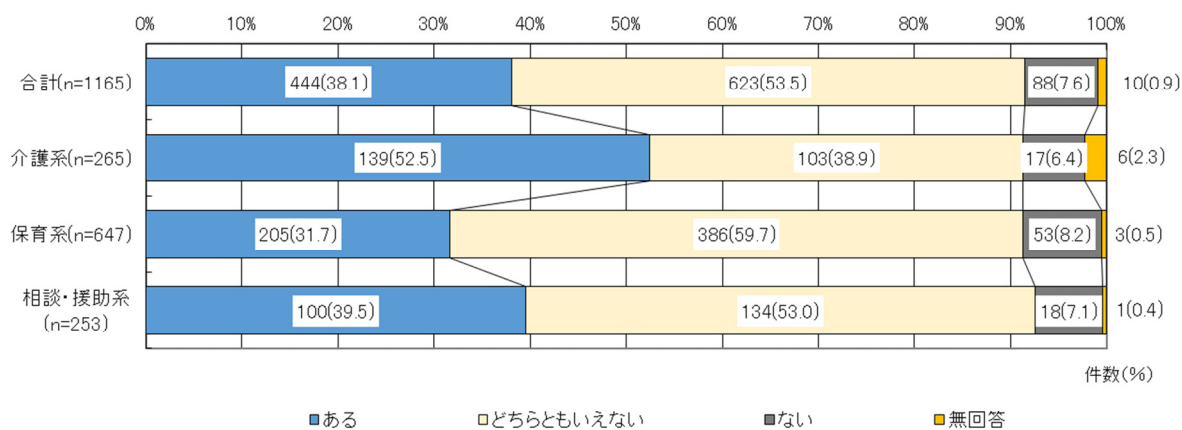
(2) 安定性・将来性について

図表 7-(2)-1 単純集計



福祉の仕事のイメージについて、安定性・将来性が「ある」と回答した割合は 38.1%であった。「どちらともいえない」という回答が 53.4%と最も高かった。「ない」は 7.7%であった。

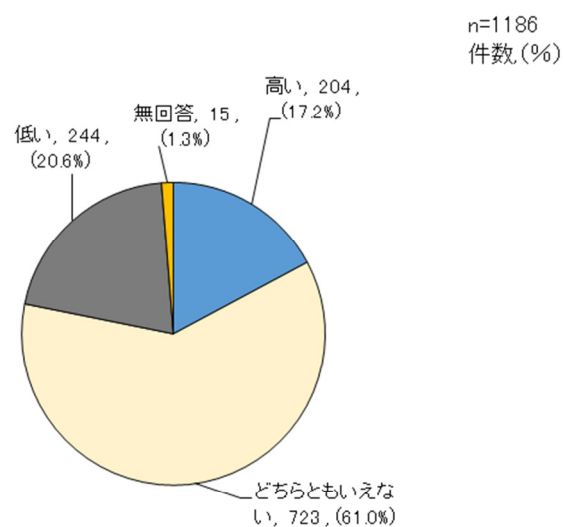
図表 7-(2)-2 学科別クロス集計



学科別にみると、介護系では安定性・将来性が「ある」と回答した割合が 52.5%と過半数であるが、保育系と相談・援助系では「どちらともいえない」が半数を超えている。保育系では「ある」と回答した割合は 31.7%と他学科と比較して低かった。

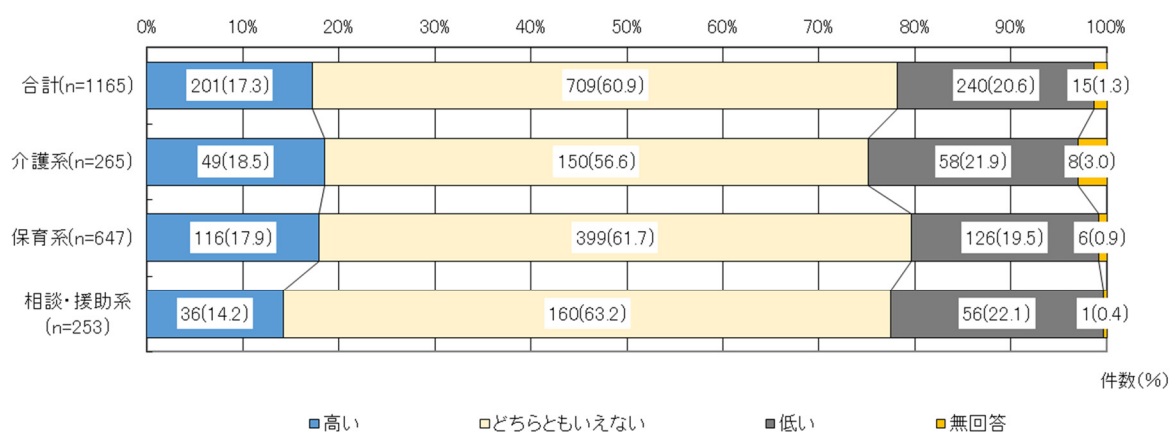
(3) 社会的地位について

図表 7-(3)-1 単純集計



福祉の仕事のイメージについて、社会的地位が「高い」と回答した割合は 17.2%であった。「どちらともいえない」という回答が 61.0%と最も高かった。「低い」は 20.6%で「高い」を上回った。

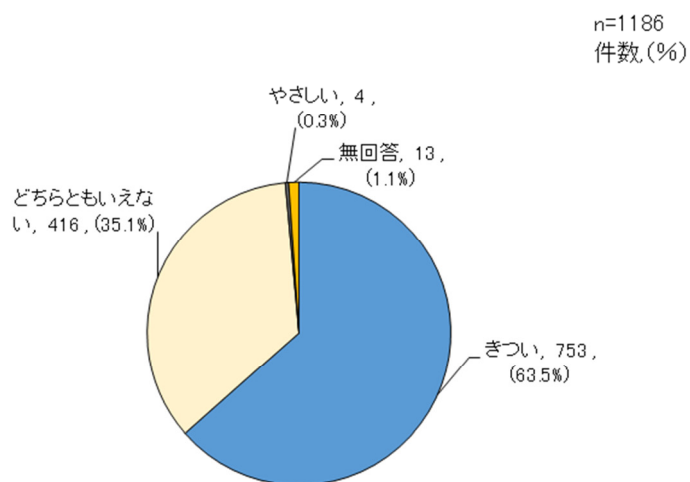
図表 7-(3)-2 学科別クロス集計



学科別にみると、全ての学科で、「どちらともいえない」と回答した割合が高く、「低い」と回答した割合が「高い」を上回っている。相談・援助系では、「高い」と回答した割合が 14.2%と、他学科と比較して低かった。

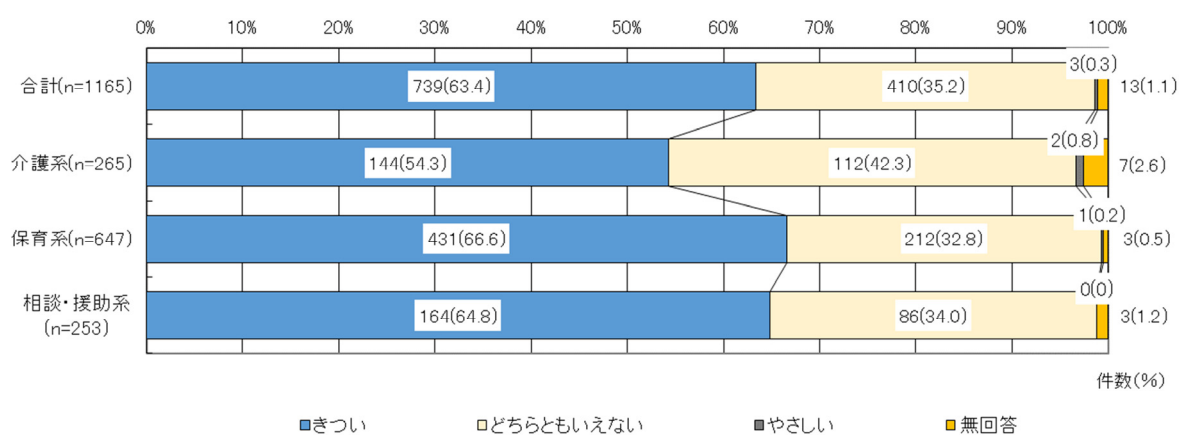
(4) 仕事内容について

図表 7-(4)-1 単純集計



福祉の仕事のイメージについて、仕事内容が「きつい」と回答した割合は 63.5%であった。「どちらともいえない」が 35.1%、「やさしい」は 0.3%と低かった。

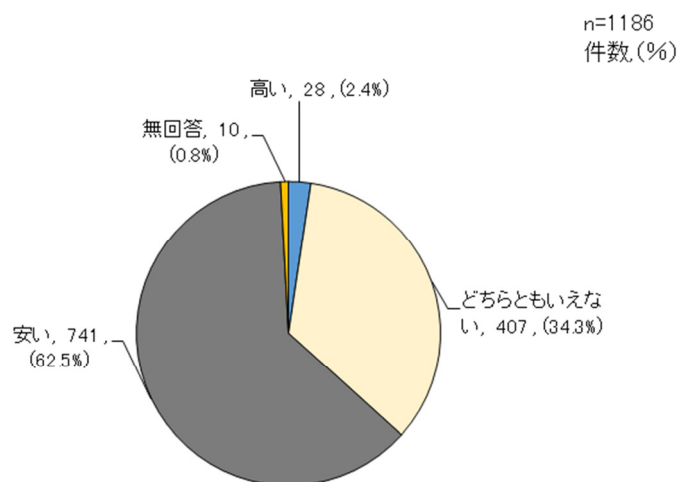
図表 7-(4)-2 学科別クロス集計



学科別にみると、全ての学科で、「きつい」と回答した割合が高く、「やさしい」と回答した割合が低い。保育系では「きつい」と回答した割合が 66.6%と、他学科と比較して高い。相談・援助系では、「やさしい」と回答した割合は 0%であった。

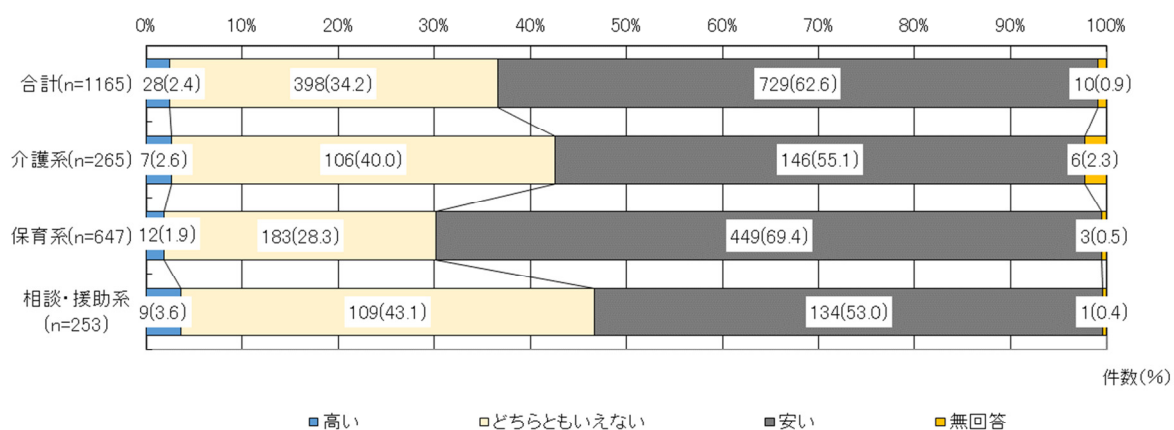
(5) 賃金について

図表 7-(5)-1 単純集計



福祉の仕事のイメージについて、賃金が「安い」と回答した割合が最も高く 62.5%であった。「どちらともいえない」が 34.3%、「高い」と回答した割合は 2.4%と低かった。

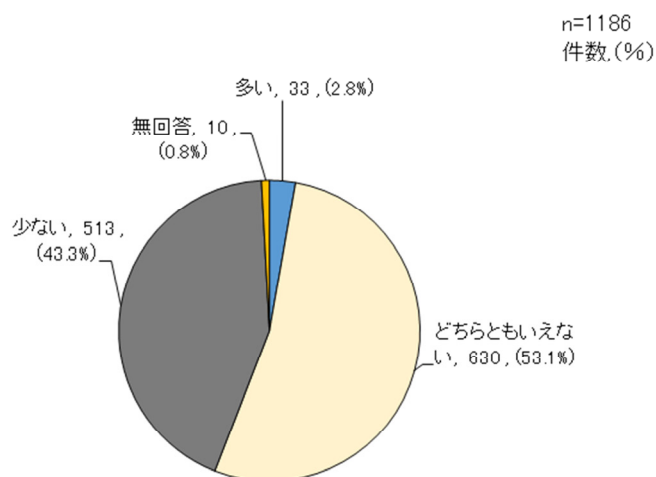
図表 7-(5)-2 学科別クロス集計



学科別にみると、全ての学科で、「安い」と回答した割合が高く、特に保育系では 69.4%と高い。

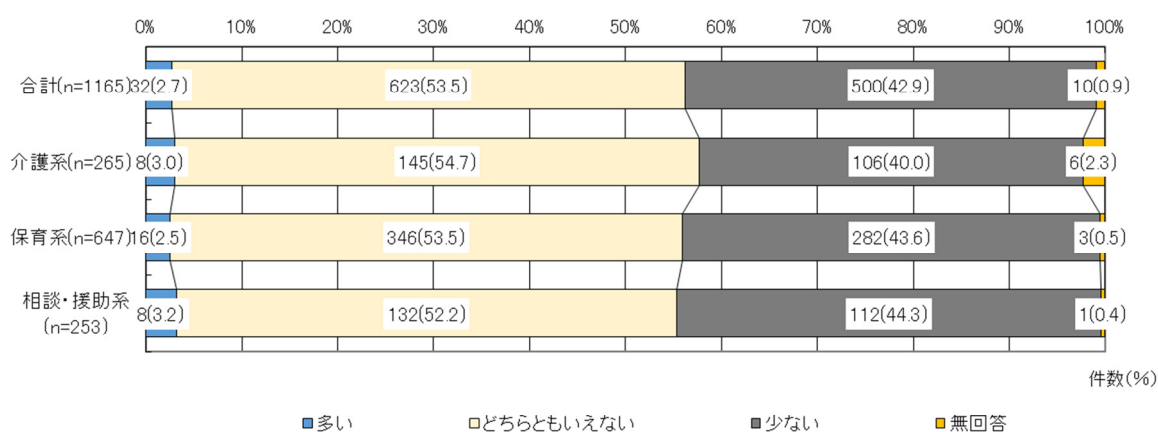
(6) 休日について

図表 7-(6)-1 単純集計



福祉の仕事のイメージについて、休日が「多い」と回答した割合は2.8%と低かった。「どちらともいえない」が53.1%と最も高く、「少ない」と回答した割合が43.3%であった。

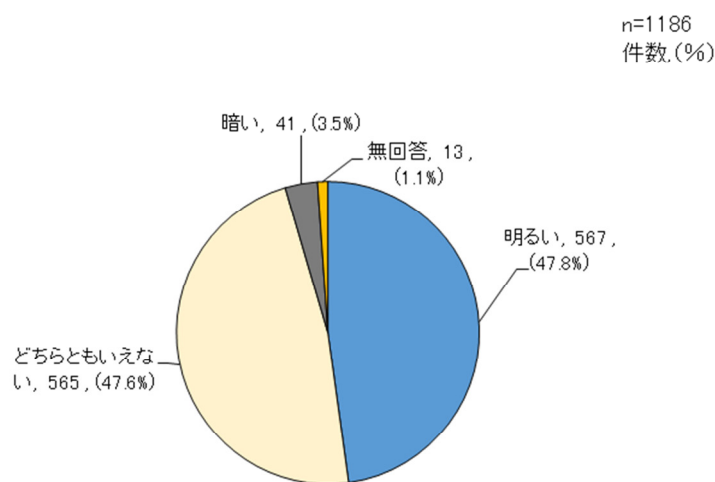
図表 7-(6)-2 学科別クロス集計



学科別にみると、全ての学科で、「どちらともいえない」と回答した割合が50%以上と高く、ついで「少ない」が40%以上で、「多い」という回答は少なかった。

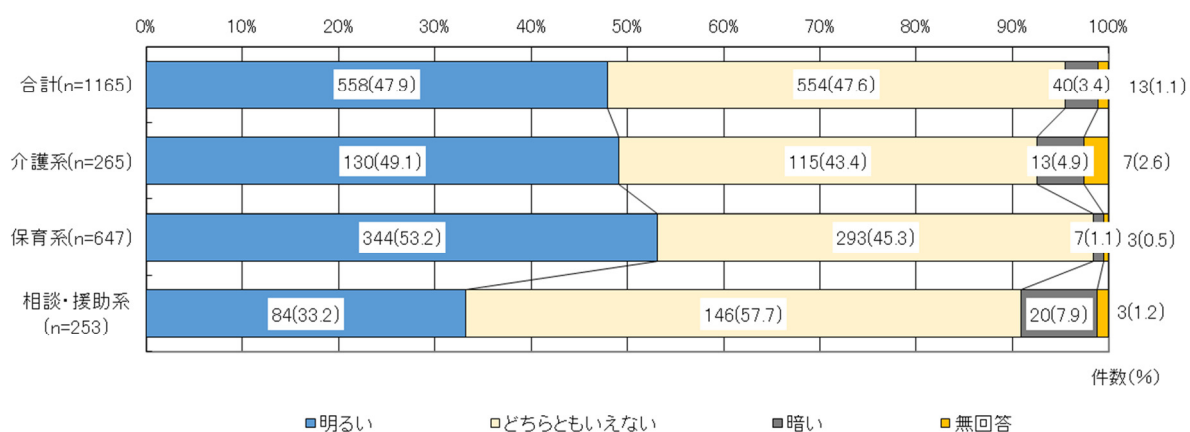
(7) 職場のイメージについて

図表 7-(7)-1 単純集計



福祉の仕事のイメージについて、職場が「明るい」と回答した割合が 47.8%と最も高かった。「どちらともいえない」が 47.6%、「暗い」と回答した割合は 3.5%と低かった。

図表 7-(7)-2 学科別クロス集計

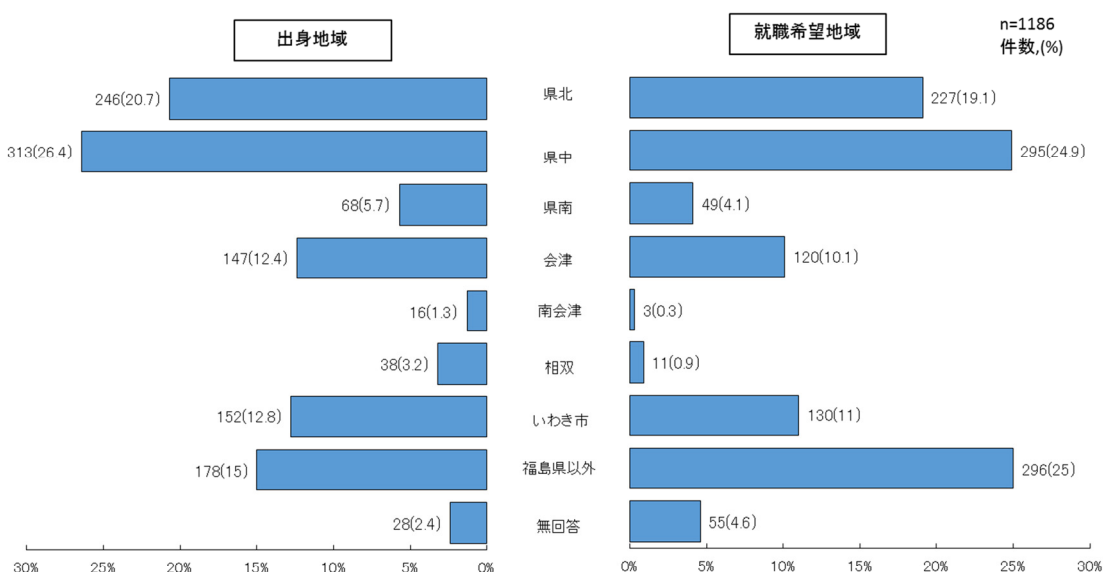


学科別にみると、介護系、保育系では「明るい」と回答した割合が「どちらともいえない」を上回っているが、相談・援助系では「どちらともいえない」と回答した割合が「明るい」を大きく上回っており、「暗い」と回答した割合が、他学科と比較して高かった。

問 8 あなたの出身地域と就職希望地域は？（○は1つ）

(1) 出身地域・就職希望地域

図表 8-(1)-1 単純集計

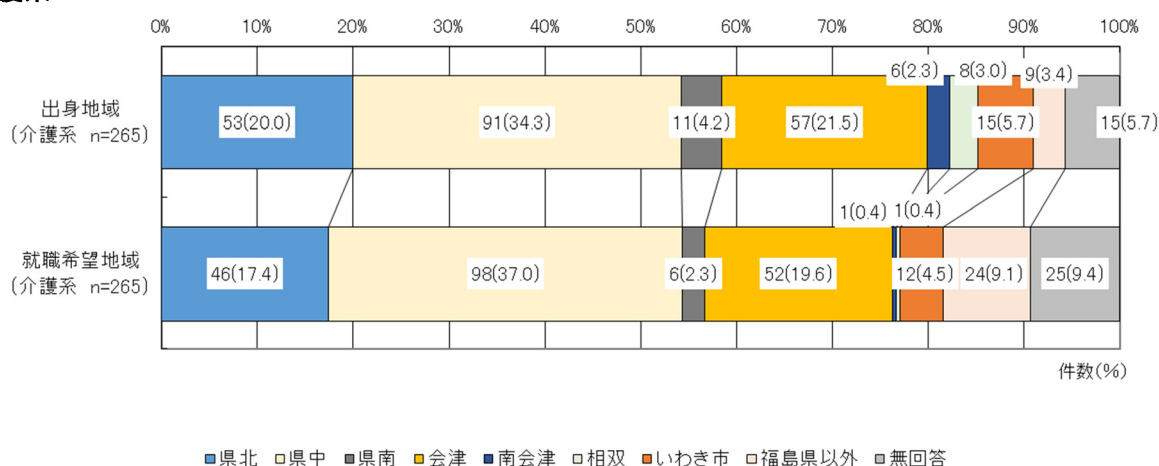


回答者の出身地域は「県中」が 26.4%と最も多く、次いで「県北」が 20.7%であった。

就職希望地域は、「福島県以外」が 25.0%と最も多く、次いで「県中」が 24.9%であった。

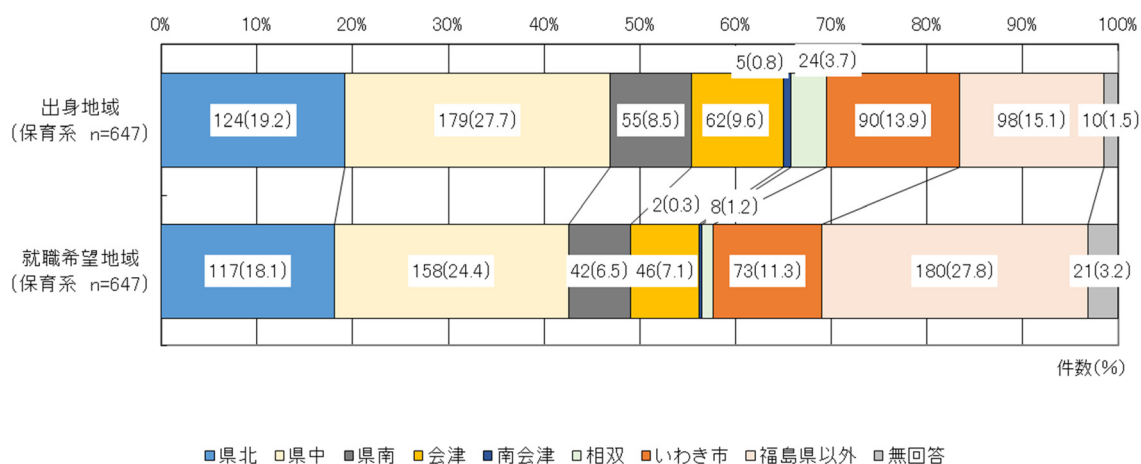
図表 8-(1)-2 学科別クロス集計

介護系



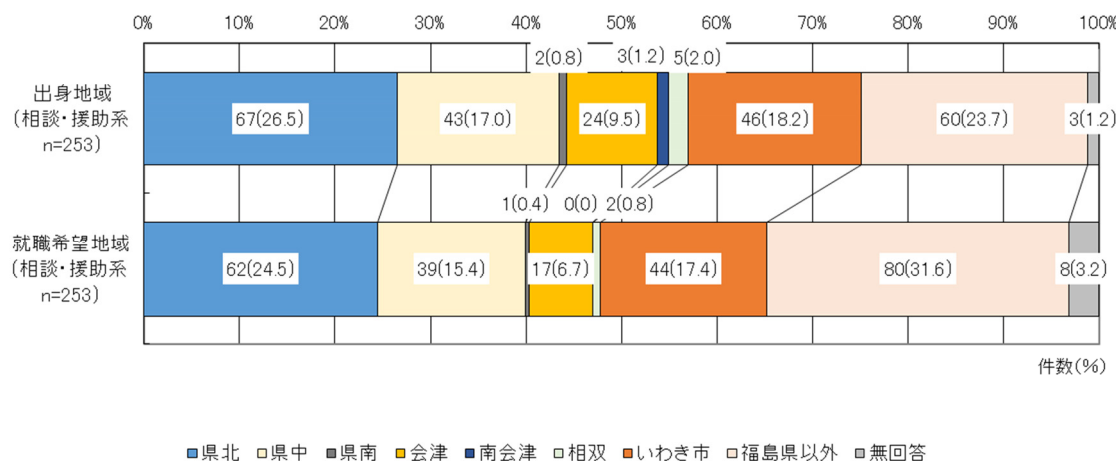
介護系の学生は、出身地域、就職希望地ともに「県中」が最も多かった。次いでともに「会津」であった。「県中」と「福島県以外」は、就職希望地域の割合が出身地域の割合を上回っているが、それ以外の地域では就職希望地域の割合が出身地域の割合を下回っている。

保育系



保育系の学生の出身地域は「県中」が最も多かったが、就職希望地は「福島県以外」が最も多かった。「福島県以外」は、就職希望地域の割合が出身地域の割合を大きく上回っているが、それ以外の地域では就職希望地域の割合が出身地域の割合を下回っている。

相談・援助系



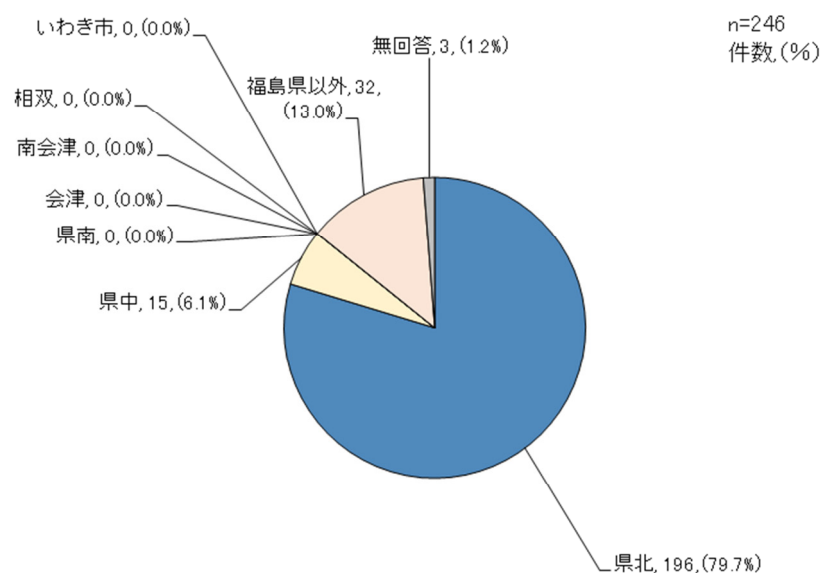
相談・援助系の学生の出身地域は「県北」が最も多かったが、就職希望地は「福島県以外」が最も多かった。

「福島県以外」は、就職希望地域の割合が出身地域の割合を大きく上回っているが、それ以外の地域では就職希望地域の割合が出身地域の割合を下回っている。

(2) 出身地域別就職希望地域

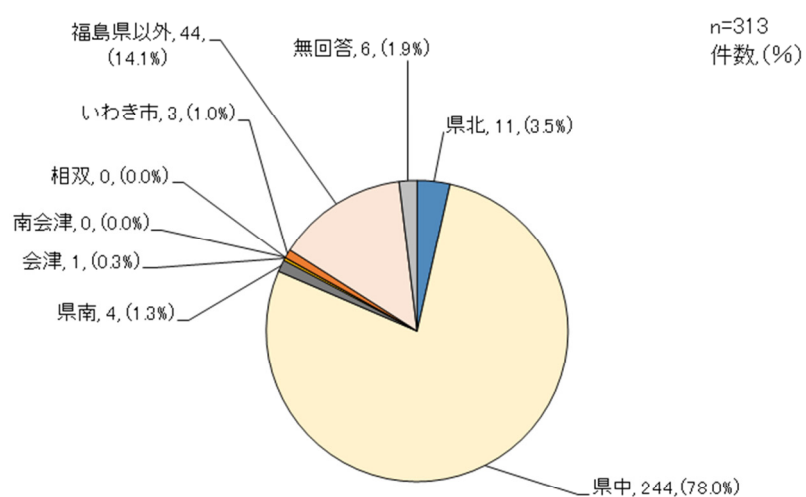
図表 8-(2)-1 クロス集計

県北



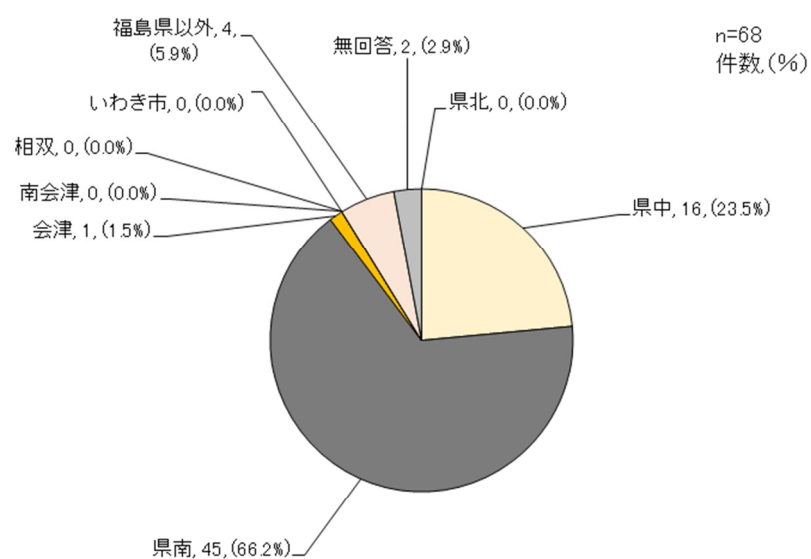
県北地域の学生の就職希望地域では、「県北」が 79.7%と最も割合が高かった。

県中



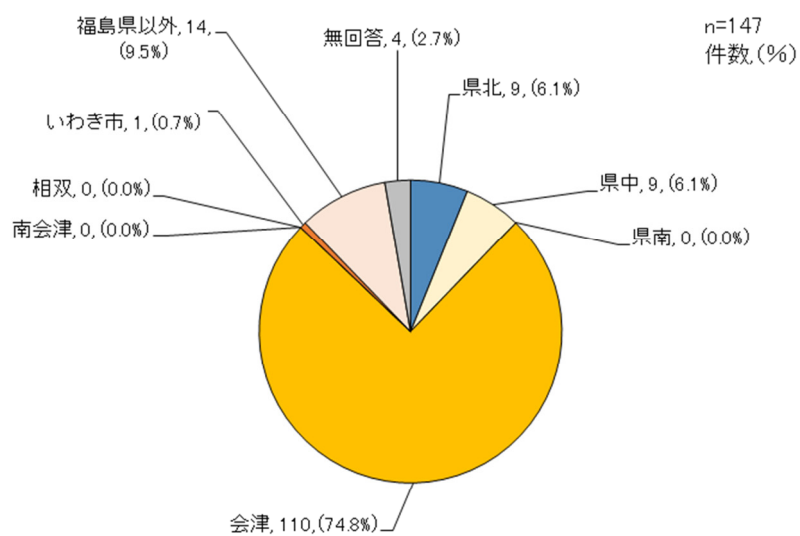
県中地域の学生の就職希望地域では、「県中」が 78.0%と最も割合が高かった。

県南



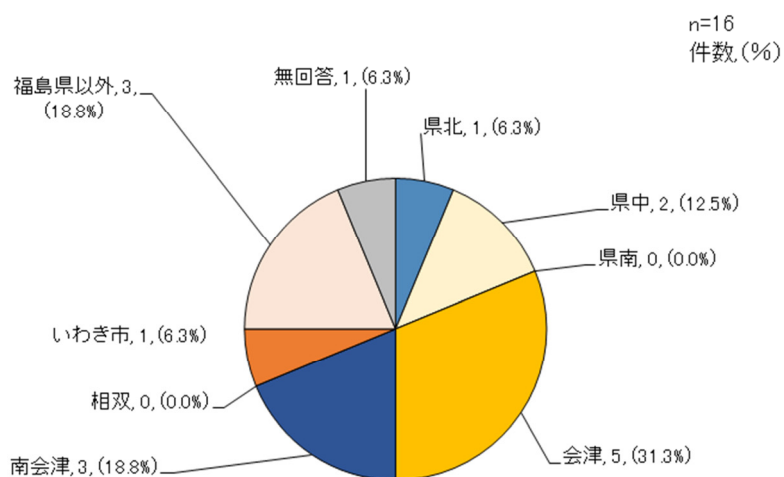
県南地域の学生の就職希望地域では、「県南」が 66.2%と最も割合が高かった。

会津



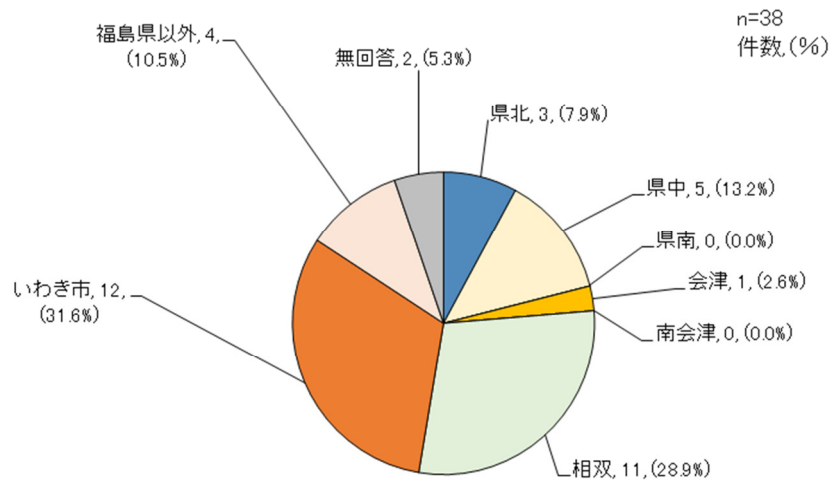
会津地域の学生の就職希望地域では、「会津」が 74.8%と最も割合が高かった。

南会津



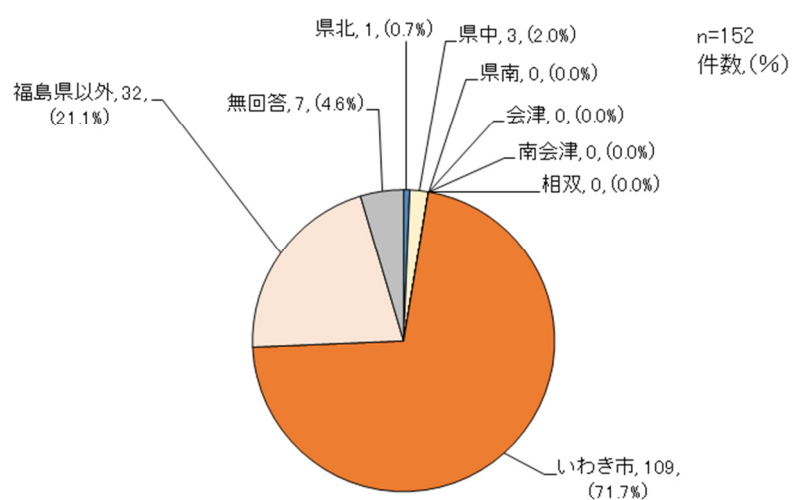
南会津地域の学生の就職希望地域では、「会津」が 31.3%と最も割合が高く、次いで「南会津」と「福島県以外」がともに 18.8%であった。

相双



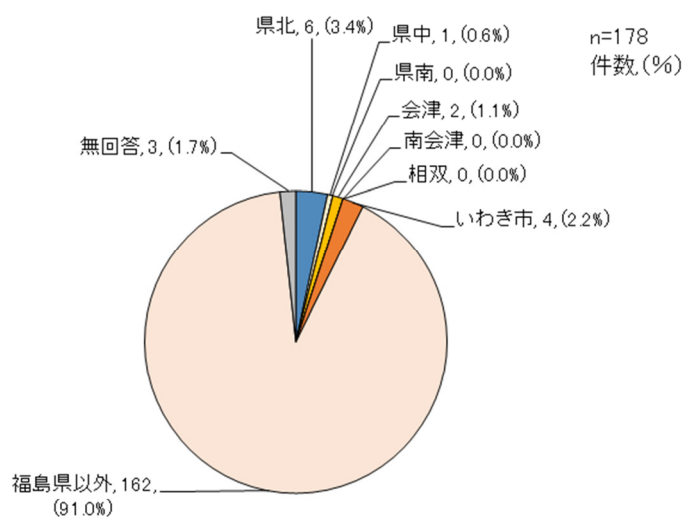
相双地域の学生の就職希望地域では、「いわき市」が 31.6%と最も割合が高く、次いで「相双」が 28.9%であった。

いわき市



いわき市の学生の就職希望地域では、「いわき市」が71.7%と最も割合が高く、次いで「福島県以外」が21.1%であった。

福島県以外

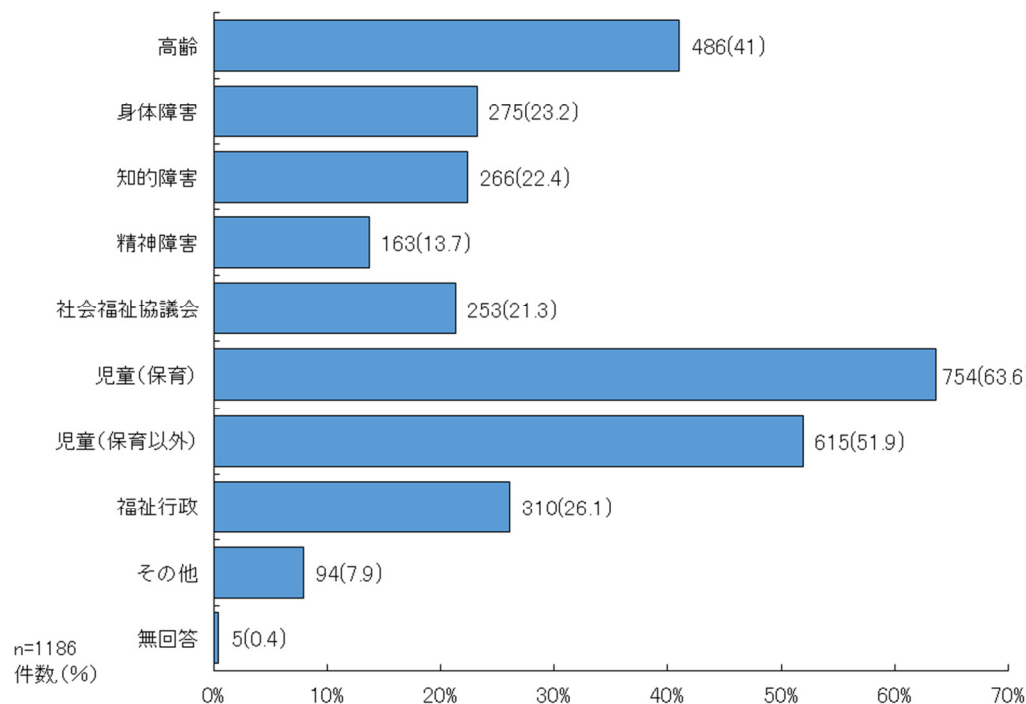


福島県以外の出身の学生の就職希望地域では、「福島県以外」が91.0%と最も割合が高かった。

問 9 将来仕事をしたい分野は？(第3希望まで)

* 希望順が不明な回答が多かったため、希望順の集計は行っていない。

図表 9-1 単純集計



回答者が将来仕事をしたい分野としては、「児童(保育)」が 63.6%と最も高く、ついで「児童(保育以外)」が 51.9%、「高齢」が 41.0%であった。

図表 9-2 学科別クロス集計

上段:度数 下段:%	合計	高齢	身体障害	知的障害	精神障害	社会福祉協議会	児童(保育)	児童(保育以外)	福祉行政	その他	無回答
合計	1165	480	271	259	158	251	738	603	306	92	5
	100	41.2	23.3	22.2	13.6	21.5	63.3	51.8	26.3	7.9	0.4
介護系	265	244	133	60	35	89	64	37	59	13	4
	100	92.1	50.2	22.6	13.2	33.6	24.2	14	22.3	4.9	1.5
保育系	647	115	82	146	40	50	623	463	135	55	1
	100	17.8	12.7	22.6	6.2	7.7	96.3	71.6	20.9	8.5	0.2
相談・援助系	253	121	56	53	83	112	51	103	112	24	-
	100	47.8	22.1	20.9	32.8	44.3	20.2	40.7	44.3	9.5	-

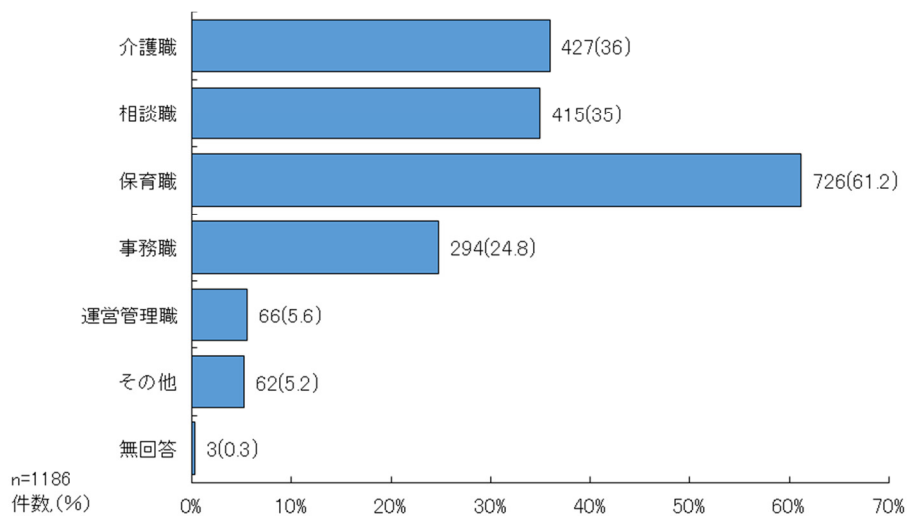
学科別にみると、介護系では「高齢」が 92.1%と最も高く、次いで「身体障害」が 50.2%であった。

保育系では「児童(保育)」が 96.3%と最も高く、ついで「児童(保育以外)」が 71.6%であった。

相談・援助系では「高齢」が 47.8%と最も高かったが、ついで「社会福祉協議会」と「福祉行政」がともに 44.3%であった。

問 10 将来仕事をしたい職種は？（○は2つまで）

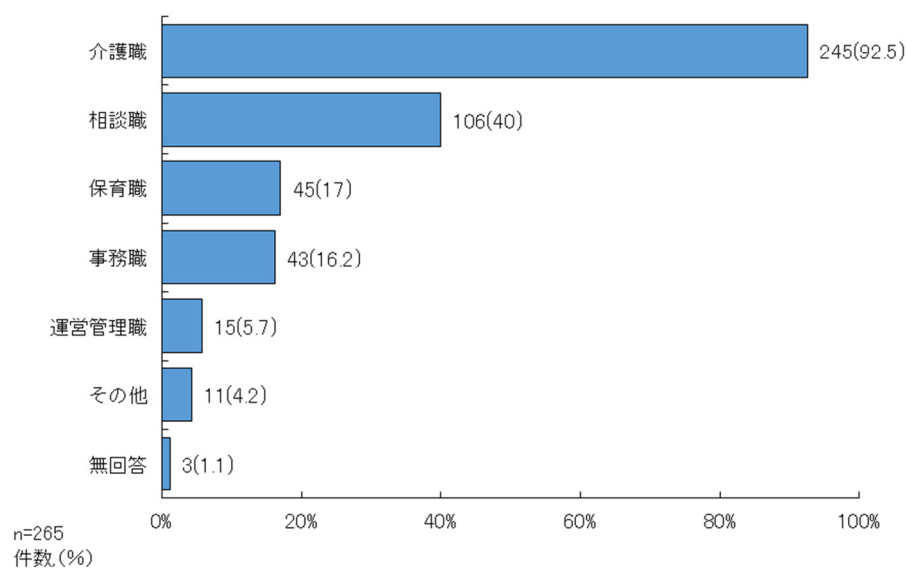
図表 10-1 単純集計



将来仕事をしたい職種については、「保育職」が 61.2%と最も高く、次いで「介護職」が 36.0%、「相談職」が 35.0%であった。

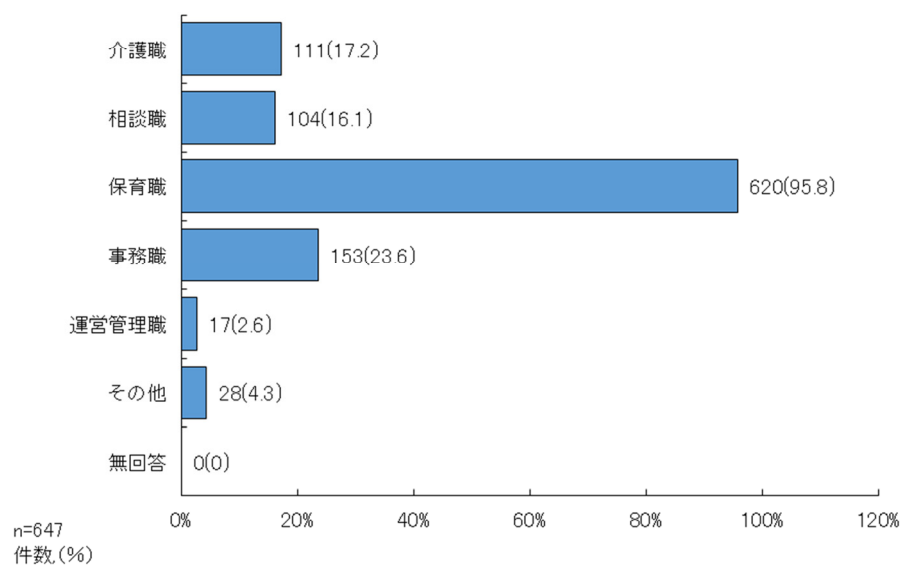
図表 10-2 学科別クロス集計

介護系



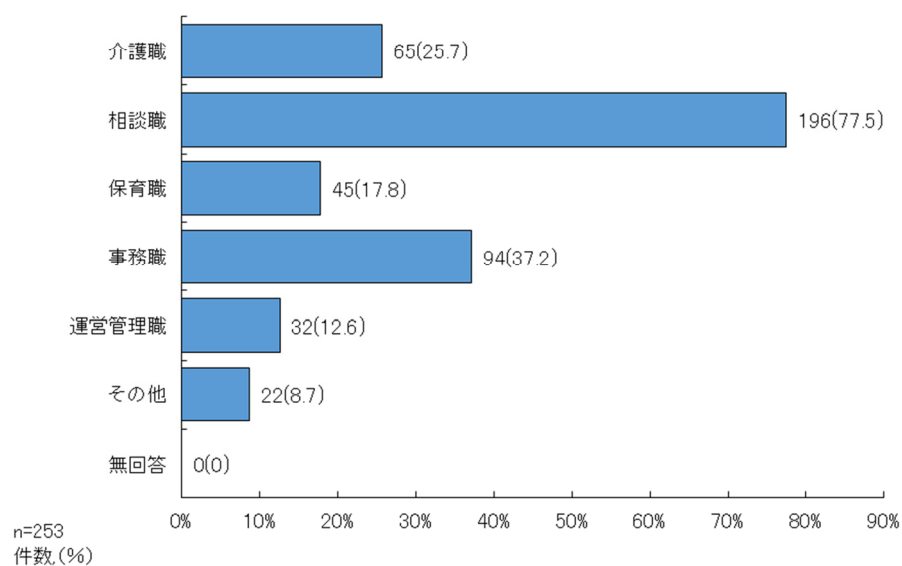
学科別にみると、介護系では「介護職」が 92.5%と最も高く、次いで「相談職」が 40.0%であった。

保育系



保育系では「保育職」が 95.8%と最も高く、ついで「事務職」が 23.6%であった。

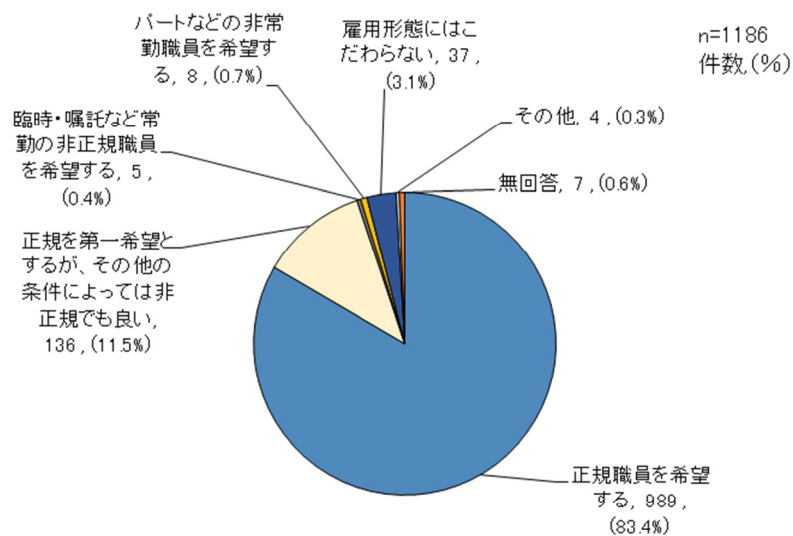
相談・援助系



相談・援助系では「相談職」が 77.5%と最も高く、次いで「事務職」が 37.2%、「介護職」が 25.7%であった。

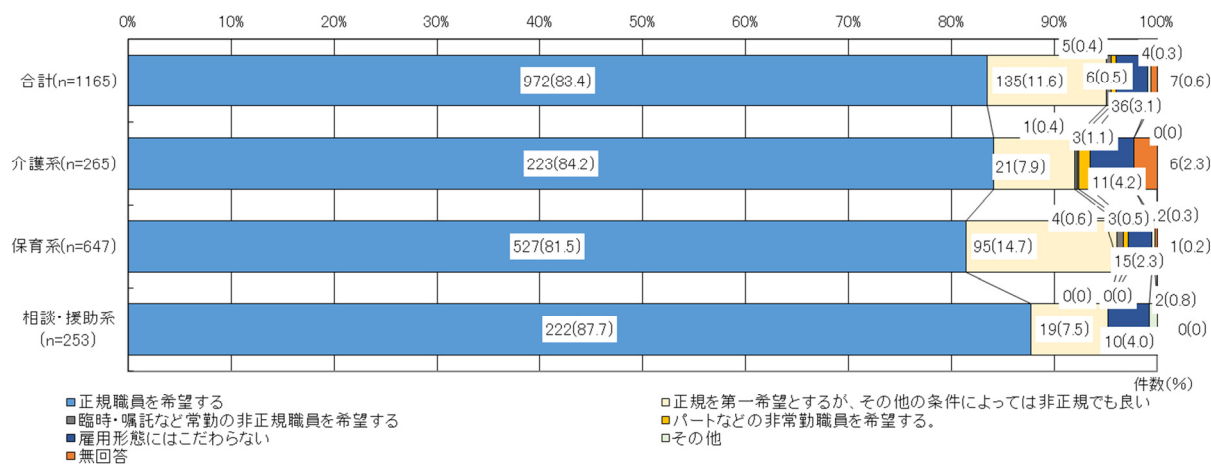
問 11 希望する雇用形態は？（○は1つ）

図表 11-1 単純集計



希望する雇用形態は「正規職員を希望する」と回答した割合が 83.4%と最も高く、次いで「正規を第一希望とするが、その他の条件によっては非正規でも良い」が 11.5%であった。

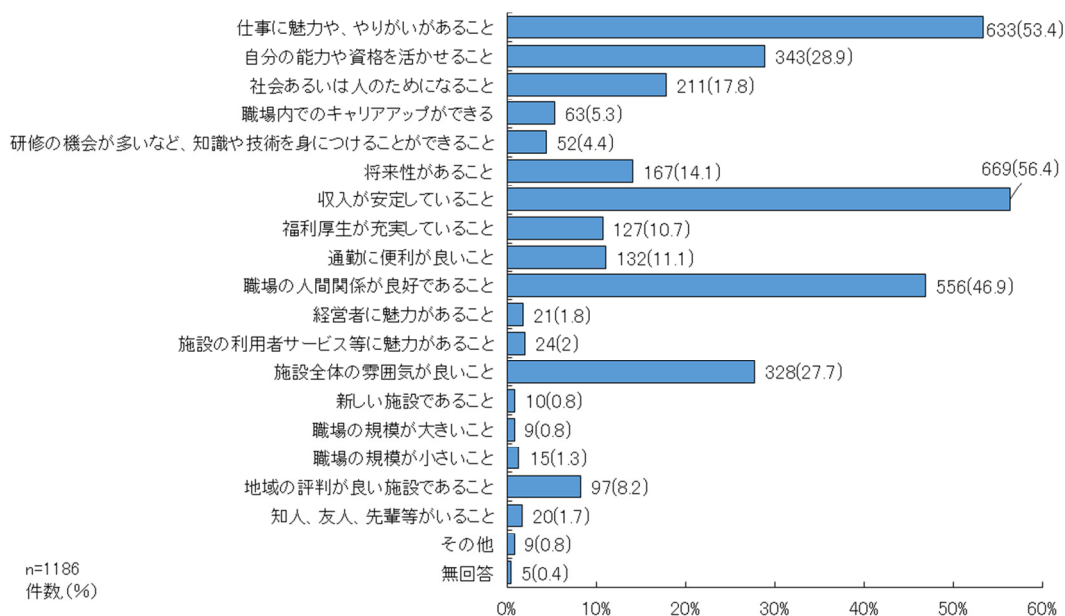
図表 11-2 学科別クロス集計



学科別にみると、全ての学科で「正規職員を希望する」が 8 割以上と最も高い。

問 12 職場を選ぶとき重視することは？（○は3つまで）

図表 12-1 単純集計



職場を選ぶとき重視することとしては、「収入が安定していること」が 56.4%と最も高く、次いで「仕事に魅力や、やりがいがあること」が 53.4%、「職場の人間関係が良好であること」が 46.9%であった。

図表 12-2 学科別クロス集計

上段:度数 下段:%	合計	仕事に魅力や、やりがいがあること	自分の能力や資格を活かせること	社会あるいは人のためになること	職場内でのキャリアアップができること	研修の機会が多いなど、知識や技術を身につけることができること	将来性があること	収入が安定していること	福利厚生が充実していること	通勤に便利が良いこと	職場の人間関係が良好であること
合計	1165	621	338	207	63	51	165	657	122	131	548
	100	53.3	29	17.8	5.4	4.4	14.2	56.4	10.5	11.2	47
介護系	265	124	78	48	26	25	43	139	28	45	100
	100	46.8	29.4	18.1	9.8	9.4	16.2	52.5	10.6	17	37.7
保育系	647	374	188	98	23	15	84	360	55	69	342
	100	57.8	29.1	15.1	3.6	2.3	13	55.6	8.5	10.7	52.9
相談・援助系	253	123	72	61	14	11	38	158	39	17	106
	100	48.6	28.5	24.1	5.5	4.3	15	62.5	15.4	6.7	41.9

経営者に魅力があること	施設の利用者サービス等に魅力があること	施設全体の雰囲気が良いこと	新しい施設であること	職場の規模が大きいこと	職場の規模が小さいこと	地域の評判が良い施設であること	知人、友人、先輩等がいること	その他	無回答
19	23	319	10	9	15	97	20	9	5
1.6	2	27.4	0.9	0.8	1.3	8.3	1.7	0.8	0.4
7	13	60	4	4	3	15	10	2	3
2.6	4.9	22.6	1.5	1.5	1.1	5.7	3.8	0.8	1.1
5	6	205	4	1	11	60	5	2	1
0.8	0.9	31.7	0.6	0.2	1.7	9.3	0.8	0.3	0.2
7	4	54	2	4	1	22	5	5	1
2.8	1.6	21.3	0.8	1.6	0.4	8.7	2	2	0.4

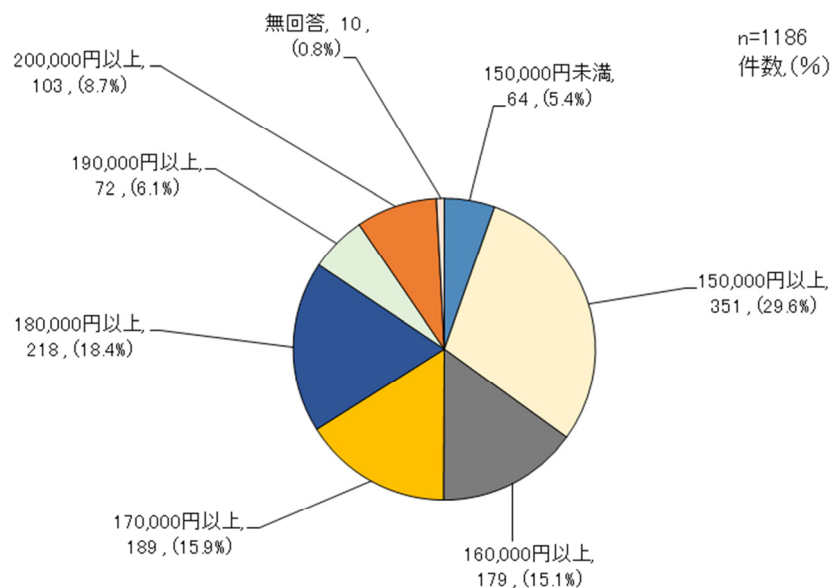
学科別にみると、介護系では、「収入が安定していること」が 52.5%と最も高く、次いで「仕事に魅力や、やりがいがあること」が 46.8%であった。

保育系では「仕事に魅力や、やりがいがあること」が 57.8%と最も高く、ついで「収入が安定していること」が 55.6%、「職場の人間関係が良好であること」が 52.9%と高かった。

相談・援助系では「収入が安定していること」が 62.5%と最も高く、次いで「仕事に魅力や、やりがいがあること」が 48.6%であった。

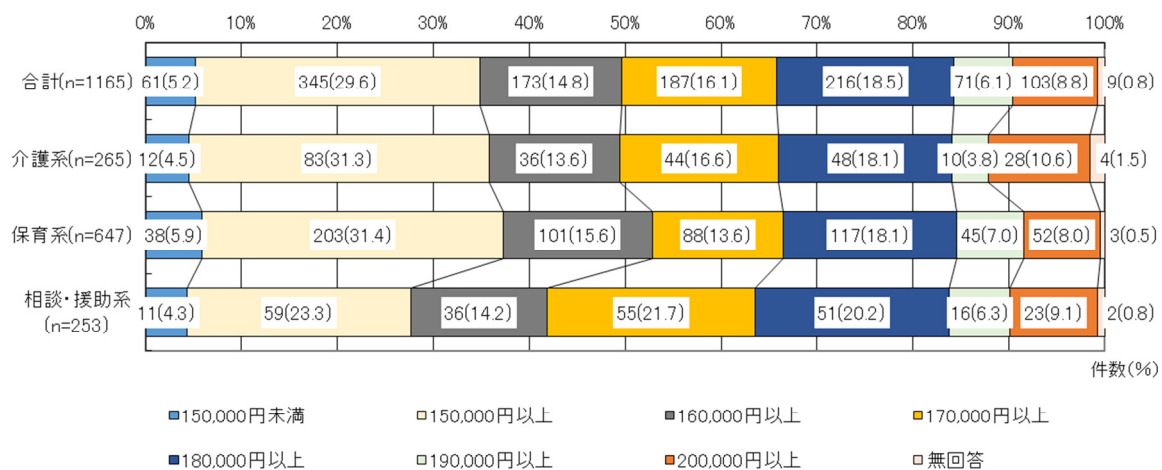
問 13 最低必要な初任給の金額は？（〇は1つ）

図表 13-1 単純集計



最低必要な初任給の金額は、「150,000 円以上」と回答した割合が 29.6%と最も高く、次いで「180,000 円以上」が 18.4%、「170,000 円以上」が 15.9%、「160,000 円以上」が 15.1%であった。

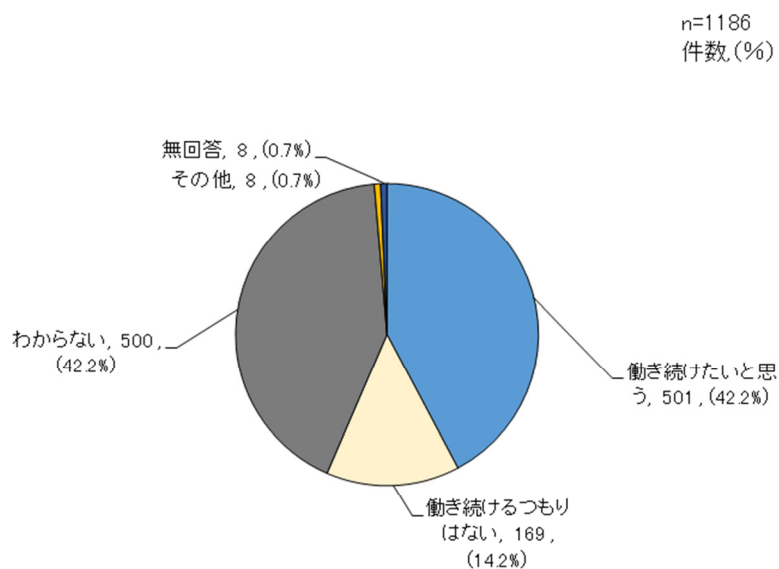
図表 13-2 学科別クロス集計



学科別にみると、全ての学科で「150,000 円以上」と回答した割合が最も高いが、相談・援助系では、「170,000 円以上」「180,000 円以上」と回答した割合が、他学科と比較して高かった。

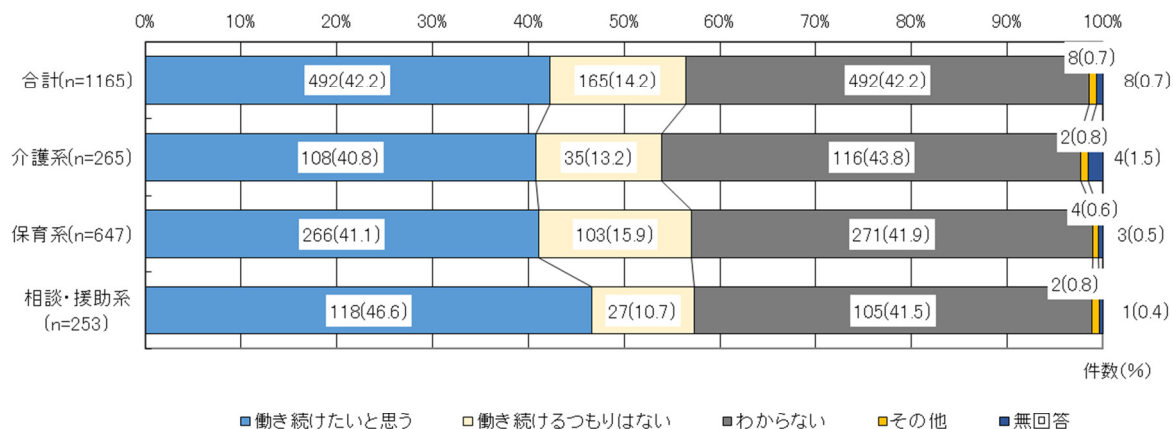
問 14 最初に働いた職場で定年まで働きたいか？（○は1つ）

図表 14-1 単純集計



最初に働いた職場で定年まで「働きたいと思う」と回答したのは42.2%で、「わからない」(42.2%)と同じ割合だった。「働けるつもりはない」は14.2%であった。

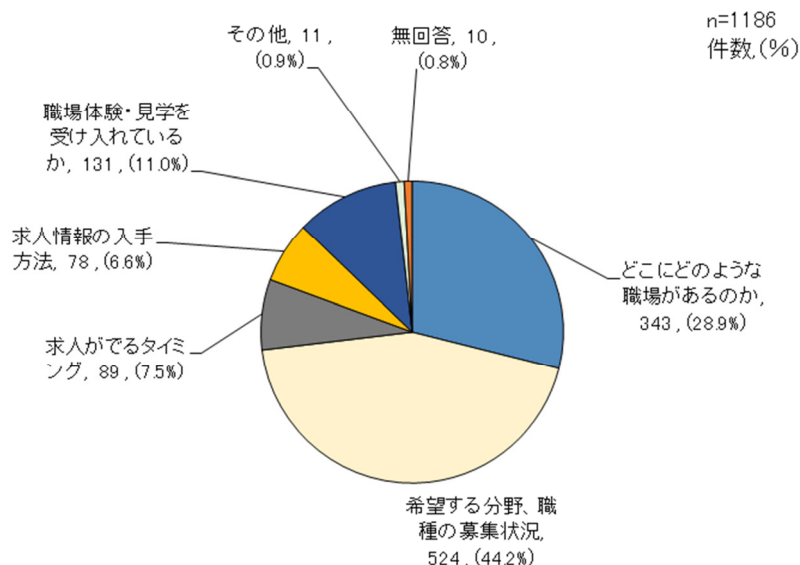
図表 14-2 学科別クロス集計



学科別にみると、介護系、保育系は「わからない」が「働きたいと思う」を上回っているが、相談・援助系は「働きたいと思う」の割合が46.6%と最も高く、「働けるつもりはない」の割合が10.7%と他学科と比較して低かった。

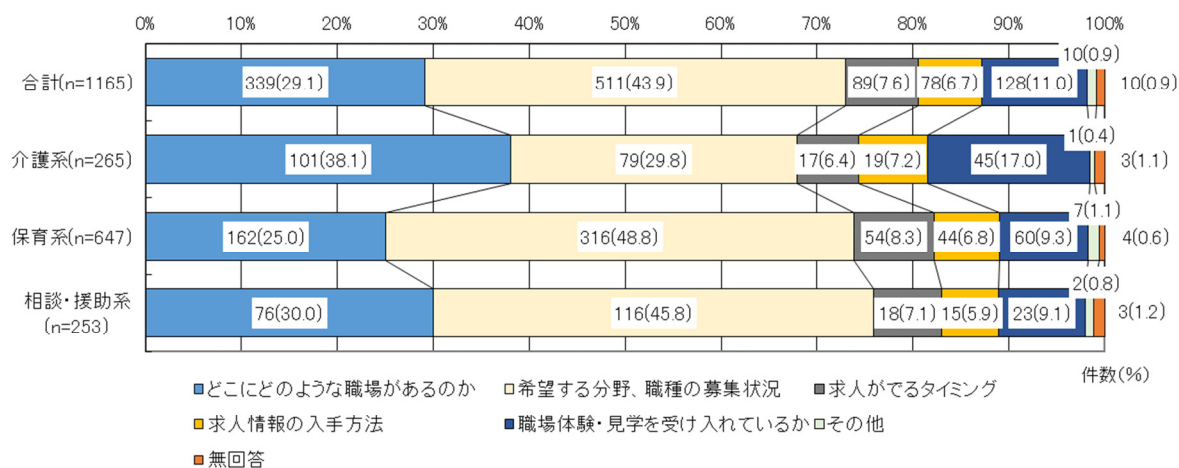
問 15 福祉の職場への就職活動に必要な情報は？（○は1つ）

図表 16-1 単純集計



福祉の職場への就職活動に必要な情報は、「希望する分野、職種の募集状況」の割合が 44.2%と最も高く、次いで「どこにどのような職場があるのか」が 28.9%であった。

図表 15-2 学科別クロス集計

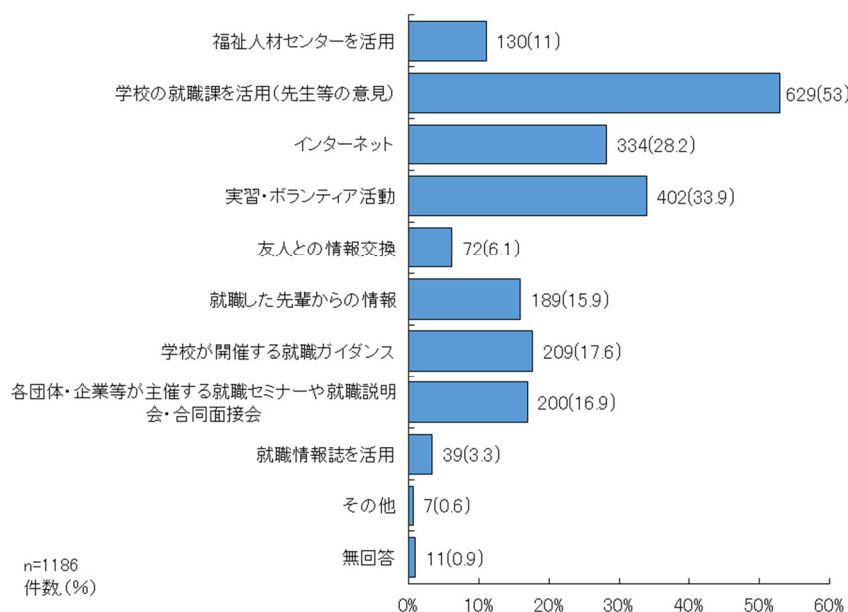


学科別にみると、介護系では「どこにどのような職場があるのか」の割合が 38.1%で最も高かった。保育系、相談・援助系では「希望する分野、職種の募集状況」の割合が最も高かった。

介護系では「職場体験・見学を受け入れているか」の割合が 17.0%と、他学科と比較して高かった。

問 16 就職活動に最も活用していきたいものは？（〇は2つまで）

図表 16-1 単純集計



就職活動に最も活用していきたいものは、「学校の就職課を活用(先生等の意見)」が 53.0%と最も高く、次いで「実習・ボランティア活動」が 33.9%、「インターネット」が 28.2%であった。

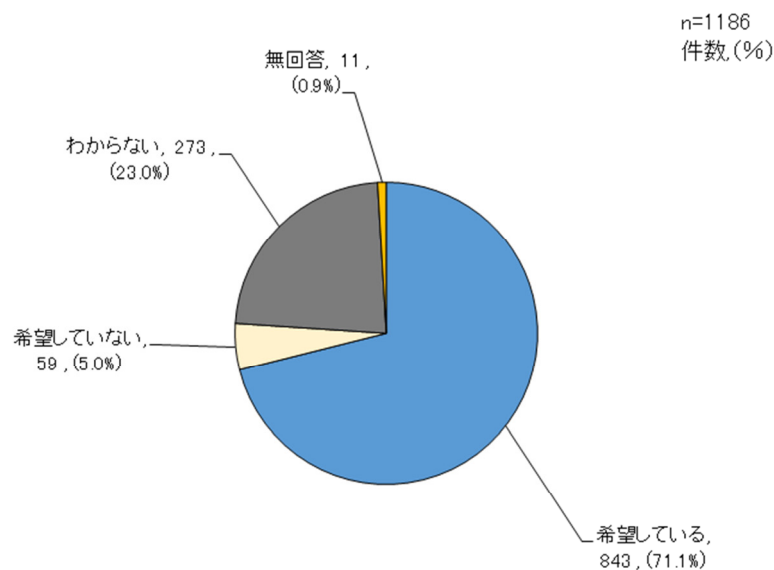
図表 16-2 学科別クロス集計

上段:度数 下段:%	合計	福祉人材センターを活用	学校の就職課を活用(先生等の意見)	インターネット	実習・ボランティア活動	友人との情報交換	就職した先輩からの情報	学校が開催する就職ガイダンス	各団体・企業等が主催する就職セミナーや就職説明会・合同面接会	就職情報誌を活用	その他	無回答
合計	1165	125	616	325	397	72	188	208	194	39	7	11
	100	10.7	52.9	27.9	34.1	6.2	16.1	17.9	16.7	3.3	0.6	0.9
介護系	265	45	113	68	105	18	39	53	34	13	3	2
	100	17	42.6	25.7	39.6	6.8	14.7	20	12.8	4.9	1.1	0.8
保育系	647	38	375	179	220	42	120	115	96	18	1	6
	100	5.9	58	27.7	34	6.5	18.5	17.8	14.8	2.8	0.2	0.9
相談・援助系	253	42	128	78	72	12	29	40	64	8	3	3
	100	16.6	50.6	30.8	28.5	4.7	11.5	15.8	25.3	3.2	1.2	1.2

学科別にみると、全ての学科で「学校の就職課を活用(先生等の意見)」が最も高かった。次いで、介護系と保育系では「実習・ボランティア活動」が高かったが、相談・援助系では「インターネット」が高かった。

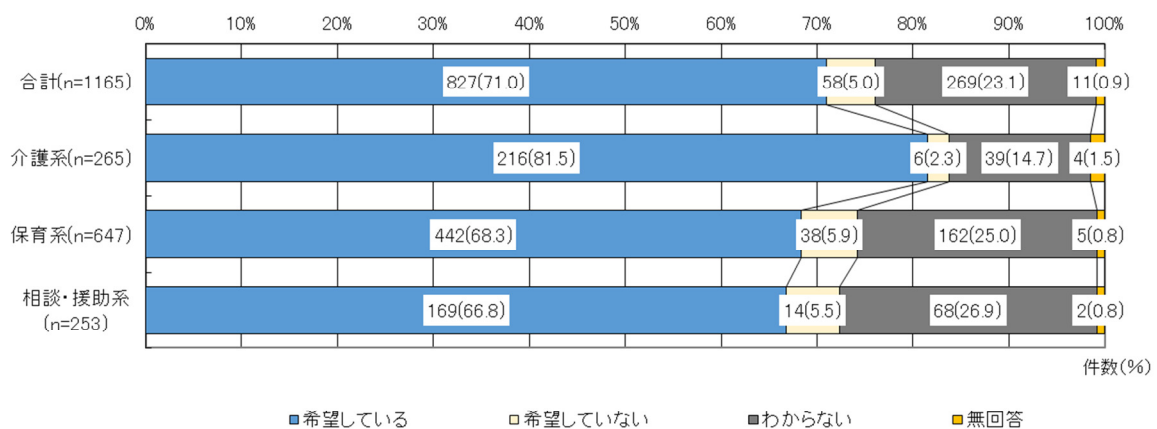
問 17 卒業後福祉の職場に就職を希望するか？(○は1つ)

図表 17-1 単純集計



卒業後、福祉の職場に就職を「希望している」割合は 71.1%であった。「希望していない」は 5.0%、「わからない」が 23.0%であった。

図表 17-2 学科別クロス集計



学科別にみると、全ての学科で「希望している」割合が最も高いが、介護系が 81.5%であるのに対し、保育系では 68.3%、相談・援助系では 66.8%であり、両学科とも約 4 分の 1 が「わからない」と回答した。

問 18 施設実習における課題や悩み、不安等(自由回答)

- ・ 相手を否定せずに自分の想いを伝えることの難しさや大変さを知り、それが私の課題です。
- ・ アセスメントがしっかり成されているのかに不安がある。
- ・ 意思疎通できない方とのコミュニケーション方法が分からず不安。
- ・ 上手く、職員の方々や子どもたちと関係を築けるか。
- ・ 子どもたちと関わる時にどう対応していいのかわからなくなる時がある。例えば、「こっち来て」と言われた時。また、それを別な所から複数人に言われた時。
- ・ 子どもたちとの関わり方がわからない。
- ・ 子どもたちの状況がわからない状態で行くのが不安。
- ・ コミュニケーションについて。(他 5 件)
- ・ コミュニケーションが苦手なので実習で長く話せるのが不安である。
- ・ 障害児支援施設で障がい児とコミュニケーションが取れるか不安。
- ・ 障がい者の方とどのように関わればいいのかわからない。(他 2 件)
- ・ 障がい者の行動の意味を理解。
- ・ 障がいのある子とない子の援助の仕方の違いをどこまでしていいのかわからない。
- ・ 初めての实習の際、言語障がいの利用者に声をかけられたとき、何を言っているのか理解できず、どうすればいいかわからない。聞き返して、相手を不快な気分にしないう不安。
- ・ もっと知的障がいについての資格など取得してみたいと思った。
- ・ 認知症の方とのコミュニケーションが不安。
- ・ 利用者とのどのように関わればいいのか、行く前は不安だった。短い期間で、利用者を理解しようとするのが大事だと思った。
- ・ 利用者との関わりや、介護技術等の方へどう介護するかや技術をどの場面でどう活用するか等です。
- ・ 利用者の方との関わりかたがわからないので不安です。(他 2 件)
- ・ 利用者の方とのコミュニケーション。身体的介助での移乗。指導者の方の意識。不適切な介助への疑問。学生に対して、職員並みに実習中働くことを強要された。食事介助を二人同時にするように強要された。
- ・ 「わからないことはなんでもきいて」といわれるが、忙しそうで声をかけにくい雰囲気だった。
- ・ 現場がバタバタしすぎていて、あまり教えることができないのではないかと不安があります。
- ・ 怒られたらどうしよう。
- ・ 施設側の本心がわからない。ここで働くよう言われたが素直に受け入れていいのでしょうか。
- ・ 実習先の人間関係。(他 21 件)
- ・ 実習開始よりしばらく過度な緊張が続いてしまい上手くいかない。
- ・ 職員とのコミュニケーションをあまりしなかったのが自分の課題です。
- ・ 職員の方に放っておかれることが多い。声をかけづらい。
- ・ 人間関係、収入。
- ・ 利用者や打ち解けるのは比較的早いのですが、職員の方々と打ち解けるのが遅く、コミュニケーションが図りづらい。
- ・ 環境。
- ・ しっかり指導をしてもらえるか(放置されてしまったという先輩の話を聞いたため不安です)。
- ・ 実習先・指導者によって内容に大きく差があること。(他 3 件)
- ・ 実習先の雰囲気はどうか？学校より出る課題が無事に進められるか。

- ・ 実習したいところで実習ができない。丁寧な指導・助言。
- ・ 実習生を受け入れる体制をしっかりとしてほしい。
- ・ 実習の時、実習先の職員の方々から迷惑がられていないか心配です。
- ・ 人数不足が目に見えるほどわかる。
- ・ 保育所の雰囲気、保育目標が自分にあっているかどうか。
- ・ ちゃんと毎日通えるのが少し心配です。
- ・ 自分が就職を希望している地域での実習を行いたい。実習生の前ではほかの先生の悪口(悪口ではないけれど批判みたいな)を言われると、自分も怖くなってしまう。
- ・ 壁面等を作る予定があるなら、早めにいってほしい。オリエンテーション実習初日ではなく、実習前に言って欲しい。
- ・ 今の自分の能力が通用するのか。
- ・ 課題がきちんとこなせるか不安。(他 1 件)
- ・ 学校で学んだ事と、現場で行っている介助の仕方が違ったり、職員さんによって教え方が違って悩んだ。
- ・ 技術面の向上。
- ・ 講義と実践は違うのでついていけるか分からない。
- ・ 大学で講義を受けているが、実習となると自分の知識が少ないのではないかと不安。
- ・ 国家公務員の資格取れるか不安。
- ・ 言葉使いや、知識的に役に立てるか。
- ・ 子どもの発達理解。
- ・ 自分で考えて行動できるかが不安。
- ・ 責任実習のことや指導案の作成においてスムーズに行えるか。
- ・ 保育所実習で責任実習の日数が多くないか不安。
- ・ 本実習の責任実習が不安です。
- ・ まだ園全体の理解や各クラスの流れを理解しきれていないので全日実習が不安。
- ・ やるべきことがしっかり行えるのか、実習先の方の迷惑にならないようできるか不安である。
- ・ レポートの記入。自分の学習レベルが足りているか。
- ・ 施設での介助の行い方。
- ・ 個別援助計画。
- ・ 全日保育。
- ・ 部分実習や全日実習が不安です。
- ・ 実習日誌に時間がかかりすぎることが不安。
- ・ 実習日誌の裏面「利用者とかかわり及び実習での気づき・学び」の欄を十分に埋められない。
- ・ 体調管理。日誌。(他 1 件)
- ・ 日誌。(他 3 件)
- ・ 日誌や指導案が書くことができるか不安。
- ・ 日誌をちゃんと書くことができるか、子どもとちゃんと関わるができるかなどが不安です。
- ・ 学費のほかに、実習するにあたって費用がかかること。
- ・ 実習先が県外なので、生活のリズムの乱れや交通費など色々不安です。
- ・ 収入について(他 3 件)
- ・ 家庭の事と、実習や実習の課題をどうやってこなしていけるか不安です。(Ⅱ・Ⅲ期実習の期間が長い)

- ・ 実習が始まるまで準備不足等ないかととても緊張している
- ・ 緊張。全日、半日・・・実習。
- ・ 精神的に大丈夫か不安。
- ・ 接し方、気持ちが折れないかどうか。
- ・ ちゃんとできるかな・・・うつになりそう。
- ・ 実際に将来、仕事としてやっていけるか不安。
- ・ 睡眠時間が確保できるか不安。
- ・ 泊まり込みの際に、朝起きれるかが不安です。
- ・ 二週間で三つのクラスを回るため、一つのクラスにいる期間がとても短く、自分の納得いくまでクラス内のことを理解するのが難しい。
- ・ 二週間やっていけるか不安。
- ・ 福祉の実習で 23 日間勤められるか不安です。
- ・ ピアノができない。(他 1 件)
- ・ 普段生活の中で子どもと関わる機会が少なかったことに気づいた。
- ・ 本当に自分に向いているのか分からず、就職できるかわからない。
- ・ 現場の職員さんは皆、やりがいをもって働いており、勉強になる事ばかりです。
- ・ 何もかもが不安。(他 3 件)
- ・ 分からないのが悩み。

「その他」の回答内容一覧

問 2 回答者の所属と学年 「その他」

- ・ 専攻科 1 年(他 6 件)
- ・ 専攻科 2 年
- ・ 専攻科 3 年(他 1 件)

問 3 回答者の学科 「その他」

- ・ 卒業単位取得
- ・ 心理(他 1 件)

問 4 福祉の仕事を目指そうと思った時期 「その他」

- ・ 就学前(他 1 件)
- ・ 幼稚園・保育園(他 26 件)
- ・ 高校卒業近く
- ・ 高校卒業後(他 1 件)
- ・ 専門学生時代
- ・ 短大に入ってから
- ・ 大学在籍中
- ・ 短大の卒業近く
- ・ 二十歳になってから
- ・ 50 代になってから
- ・ 元々理学療法の学校に行っていた。
- ・ 福祉(保育)の仕事に携わってから、一生の仕事にしようと考えた。
- ・ 福祉施設で働いていた時。
- ・ 社会人(他 1 件)
- ・ 前職を離職してから(他 1 件)
- ・ 退職をしてから平成 25 年、新しい目標に向かって考えた。
- ・ 知人が福祉に勤めていると知ってから
- ・ 震災後
- ・ 半年くらい前
- ・ 去年
- ・ 迷っています
- ・ 思った時期はなかったです

問 5 福祉を学ぼうと思った理由 「その他」

- ・ 幼稚園・保育園の時の先生に憧れて(他 10 件)
- ・ 自分の通っていた幼稚園が大好きだったから
- ・ 母からの影響(他 1 件)
- ・ 9 歳離れた弟の影響で
- ・ 自分が福祉関係の人と関わったから
- ・ 介護施設で働いている身内の人に勧められたから。

- ・ 自分の住んでいるところにお年寄りの方が多かったから
- ・ 子ども(幼児)に関わる仕事がしたかったから。(他 3 件)
- ・ 子どもが好きで、ボランティアに参加して学びたくなったから
- ・ 子どもと関わることが好きで、成長発達に関わりたと思った、憧れ
- ・ 一生の仕事にしたいと考えたから
- ・ これからの社会に必要だと思ったから。(他 4 件)
- ・ 人の為になる仕事がしたかったから(他 5 件)
- ・ 人を理解したい、自分が成長したいから
- ・ 世間的評価がある分野
- ・ 不登校の子とかかわりたかったから。
- ・ 児童虐待問題に関心があった。
- ・ 生活相談員になりたいから
- ・ 貧困に困っている人を助けたいと思ったから。
- ・ 音楽が得意だったから
- ・ 音楽や工作ができる仕事がしたいから
- ・ 再就職が困難だったため
- ・ 就職率
- ・ 資格が欲しい(他 1 件)
- ・ 実習を行って興味を持ったから
- ・ 授業の一環で幼稚園での実習を行い、興味を抱いたから
- ・ 自分で調べてみて合ってると思ったから
- ・ 心理に興味があったため(他 1 件)
- ・ なんとなく(他 1 件)
- ・ 理由なし

問 6 入学するにあたって課題となったこと「その他」

- ・ 学習内容など(他 4 件)
- ・ ちゃんと資格をとれるか
- ・ 入試(試験)方法
- ・ 取得資格の内容
- ・ 家族や周囲の方の理解(他 2 件)
- ・ 周りの反応→介護の仕事をするために高い学費を払うなら、看護師になった方がいいと言われた。
- ・ 自分のやりたいことをできるか
- ・ 体力
- ・ 生活費(他 3 件)
- ・ ハローワークからの紹介だったので学費はかからなかったがその他、制服代(靴等)に費用がかかった
- ・ ピアノ(他 1 件)
- ・ 設備など
- ・ 通学方法(他 1 件)
- ・ 一人暮らし
- ・ 福祉への関心

- ・ 子どもをよく知る警察官になりたい。みんなとは夢が違うこと。(少年補導員)
- ・ もう一つの将来の夢
- ・ 自分の気持ちの持ちよう、行きたいと思わなかった

問 9 将来仕事をしたい分野「その他」

- ・ 看護
- ・ 医療
- ・ 医療事務、美容系
- ・ 医療保育
- ・ 病院(他 2 件)
- ・ カウンセラー(他 1 件)
- ・ 教育現場(スクールソーシャルワーカー)
- ・ 子どもと関わる仕事
- ・ 児童自立支援施設(他 1 件)
- ・ 障がい児
- ・ 幼稚園
- ・ 小学校教員
- ・ 低所得者
- ・ 健康運動実践指導者
- ・ 警察(他 1 件)
- ・ スポーツ
- ・ 音楽関係
- ・ 動物関係
- ・ サービス業(他 1 件)
- ・ アパレル、フリー
- ・ 接客
- ・ 販売職(他 1 件)
- ・ テーマパークスタッフ
- ・ ビジネス
- ・ コンサルタント
- ・ 不動産、金融系
- ・ 一般企業(他 11 件)
- ・ 事務職(他 4 件)
- ・ 公務員(他 2 件)
- ・ 留学
- ・ 未定(他 4 件)

問 10 将来仕事をしたい職種「その他」

- ・ 看護師(他 1 件)
- ・ 医師と患者について考えたり
- ・ カウンセラー
- ・ 児童

- ・ 教育職(他 3 件)
- ・ 研究?
- ・ 警察官(他 1 件)
- ・ 健康運動実践指導者
- ・ 語学
- ・ スポーツ
- ・ 音楽関係(他 1 件)
- ・ NPO のスタッフ等
- ・ サービス業(他 3 件)
- ・ 接客
- ・ テーマパークスタッフ
- ・ 農業職
- ・ 運送
- ・ 営業
- ・ アパレル、フリー
- ・ 不動産
- ・ 福祉以外(他 4 件)
- ・ 未定(他 1 件)

問 11 希望する雇用形態「その他」

- ・ 経営者
- ・ 公務員
- ・ まだよくわからない

問 12 職場を選ぶとき重視すること「その他」

- ・ 人間関係が良好(他 1 件)
- ・ 休日(他 3 件)
- ・ 地元

問 14 最初に働いた職場で定年まで働きたいか「その他」

- ・ その時による
- ・ 働き続けられるなら働きたい
- ・ 経験を積み、病院内の保育所を希望している。
- ・ 夫婦で話し合いが必要だと思います。
- ・ 身体が続く限り
- ・ キャリア形成のため、一つの職場を全うしたいが「必要に応じて」、「必要とされる」なら転職は可能です。
- ・ 子どもができるまで
- ・ 転勤があっても構わないから。

問 15 福祉の職場への就職活動に必要な情報「その他」

- ・ 職場の人間関係(他 2 件)

- ・ 現場や先輩の声
- ・ 何を勉強すればいいのか
- ・ 給料
- ・ 収入、園の様子が一目で分かる情報
- ・ 経営状況

問 16 就職活動で最も活用していきたいこと「その他」

- ・ 自分の直感
- ・ 実習
- ・ ハローワーク

欄外記入

- ・ 問 9. 高齢者でなく、児童を対象とした仕事を希望します。
- ・ 問 10 自分で施設を開設
- ・ 問 10 スクールカウンセラー

調 査 票

問1. あなたの性別について、該当する番号に○を付け、年齢を記入してください。

1. 男 2. 女 年齡 () 歲

問2. あなたの所属について、該当する番号に○を付け、学年を記入してください。

1. 専門学校 () 年 2. 短期大学 () 年
3. 大学 () 年 4. その他 ()

問3. あなたの所属している学科に○を付けてください。

1. 介護系（介護福祉士・介護職員初任者研修）
2. 保育系（保育士・児童指導員・幼稚園教諭）
3. 相談・援助系（社会福祉士・精神保健福祉士・社会福祉主事）
4. その他（ ）

問 4. あなたが福祉の仕事を目指そうと思った時期はいつ頃ですか。該当する番号に○を付けてください。

1. 小学校
2. 中学校
3. 高等学校
4. 現在の学校に入ってから
5. 福祉系以外に就職後
6. その他（ ）

問5. あなたが福祉を学ぼうと思った理由について、該当する番号に○を付けてください。

複数回答可

1. 高齢者とかかわる仕事がしたかったから
2. 障がい者とかかわる仕事がしたかったから
3. 児童とかかわる仕事がしたかったから
4. 人とかかわる仕事がしたかったから
5. 福祉全般に興味があったから
6. 福祉に関する資格が取りたかったから
7. 身近に障がいを持つ方や、高齢者等がいたから
8. 身近に福祉の仕事をしている人がいたから
9. 福祉施設等でのボランティア経験があったから
10. 学校の先生に勧められたから
11. 家族に勧められたから
12. これから発展する分野だと思ったから
13. その他()

問6. あなたが現在の学校に入学するにあたって課題になったことはありましたか、該当する番号に○を付けてください。(複数回答可)

1. 通学距離 2. 学費 3. 両親の理解
4. 先生の理解 5. 福祉の仕事の将来の見通し 6. 特になし
7. その他（ ）

問 7. あなたが福祉の仕事にどのようなイメージを持ちますか。該当する番号に○を付けてください。

(1) 仕事の魅力ややりがいについて

1. ある 2. どちらともいえない 3. ない

(2) 安定性・将来性について

1. ある 2. どちらともいえない 3. ない

(3) 社会的地位について

1. 高い 2. どちらともいえない 3. 低い

(4) 仕事内容について

1. きつい 2. どちらともいえない 3. やさしい

(5) 賃金について

1. 高い 2. どちらともいえない 3. 安い

(6) 休日について

1. 多い 2. どちらともいえない 3. 少ない

(7) 職場のイメージについて

1. 明るい 2. どちらともいえない 3. 暗い

問 8. あなたの出身地域と就職希望地域について、それぞれ該当する番号に1つずつ○を付けてください。

地域名	出身地域	就職希望地域
1. 県北 (福島市、二本松市、伊達市、本宮市、桑折町、国見町、川俣町、飯野町、大玉村)		
2. 県中 (郡山市、須賀川市、田村市、鏡石町、天栄村、石川町、玉川村、平田村、浅川町、古殿町、三春町、小野町)		
3. 県南 (白河市、西郷村、泉崎村、中島村、矢吹町、棚倉町、矢祭町、塙町、鮫川村)		
4. 会津 (会津若松市、喜多方市、北塩原村、西会津町、磐梯町、猪苗代町、会津坂下町、湯川村、柳津町、三島町、金山町、昭和村、会津美里町)		
5. 南会津 (下郷町、檜枝岐村、只見町、南会津町)		
6. 相双 (相馬市、南相馬市、広野町、檜葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、浪江町、葛尾村、新地町、飯舘村)		
7. いわき市		
8. 福島県以外		

問12. あなたは職場を選ぶとき、どのようなことを重視しますか。該当する番号に 3つまで○を付けてください。

1. 仕事に魅力や、やりがいがあること
2. 自分の能力や資格を活かせること
3. 社会あるいは人のためになること
4. 職場内でのキャリアアップができる
5. 研修の機会が多いなど、知識や技術を身につけることができること
6. 将来性があること
7. 収入が安定していること
8. 福利厚生が充実していること
9. 通勤に便利が良いこと
10. 職場の人間関係が良好であること
11. 経営者に魅力があること
12. 施設の利用者サービス等に魅力があること
13. 施設全体の雰囲気が良いこと
14. 新しい施設であること
15. 職場の規模が大きいこと
16. 職場の規模が小さいこと
17. 地域の評判が良い施設であること
18. 知人、友人、先輩等がいること
19. その他 ()

問13. あなたが最低必要な初任給の金額は。該当する番号に 1つだけ○を付けてください。

- | | |
|----------------|----------------|
| 1. 150,000 円未満 | 2. 150,000 円以上 |
| 3. 160,000円以上 | 4. 170,000 円以上 |
| 5. 180,000円以上 | 6. 190,000 円以上 |
| 7. 200,000 円以上 | |

問14. あなたは最初に働いた職場で定年まで働きたいと思いますか。該当する番号に 1つだけ○を付けてください。

1. 働きたいと思う
2. 働けるつもりはない
3. わからない
4. その他 ()

問15. 福祉の職場への就職活動で、どんな情報が必要です。該当する番号に1つだけ○を付けてください。

1. どこにどのような職場があるのか
2. 希望する分野、職種の募集状況
3. 求人がでるタイミング
4. 求人情報の入手方法
5. 職場体験・見学を受け入れているか
6. その他（ ）

問16. 就職活動に際し、最も活用していきたいものは何ですか。該当する番号に2つまで○を付けてください。

1. 福祉人材センターを活用
2. 学校の就職課を活用（先生等の意見）
3. インターネット
4. 実習・ボランティア活動
5. 友人との情報交換
6. 就職した先輩からの情報
7. 学校が開催する就職ガイダンス
8. 各団体・企業等が主催する就職セミナーや就職説明会・合同面接会
9. 就職情報誌を活用
10. その他（ ）

問 17. 卒業後福祉の職場に就職を希望しますか。該当する番号に 1つだけ○を付けてください。

1. 希望している
2. 希望していない
3. わからない

問 18. 施設（保育所）実習において課題や悩み不安等があればご記入ください。
※未実施の方は記入不要

--

ご協力ありがとうございました

平成27年度
福祉の仕事、職場を目指す学生の意識調査
報告書

発 行：平成28年3月
発行者：社会福祉法人福島県社会福祉協議会
人材研修課 福祉人材センター
〒960-8141 福島市渡利字七社宮111
(福島県総合社会福祉センター内)
電話 024-521-5662 Fax 024-521-5663
<http://www.fukushimakenshakyo.or.jp>
E-mail: jinzai@fukushimakenshakyo.or.jp

集計・印刷：タカラ印刷株式会社
〒960-8141 福島市渡利字絵馬平86-9
電話 024-526-4303 Fax 024-526-4302

平成28年度 日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償!!

ボランティア活動保険

全国200万人
加入!!

補償金額（保険金額）

保険金の種類		プラン	Aプラン	Bプラン
ケガの補償	死亡保険金		1,200万円	1,800万円
	後遺障害保険金		1,200万円 (限度額)	1,800万円 (限度額)
	入院保険金日額		6,500円	10,000円
	手術 保険金	入院中の手術	65,000円	100,000円
		外来の手術	32,500円	50,000円
	通院保険金日額		4,000円	6,000円
	特定感染症の補償	上記後遺障害、入院、通院の 各補償金額（保険金額）に同じ		
賠償責任	葬祭費用保険金 (特定感染症)		300万円(限度額)	
	賠償責任保険金 (対人・対物共通)		5億円(限度額)	

年間保険料（1名あたり）

タイプ	プラン	Aプラン	Bプラン
基本タイプ		300円	450円
天災タイプ※ (基本タイプ+地震・噴火・津波)		430円	650円

※天災タイプでは、天災(地震、噴火または津波)に起因する被保険者自身のケガを補償します(天災危険担保特約条項)が、賠償責任の補償については、天災に起因する場合は対象になりません。

●後遺障害も
フルカバーなので
安心です!!

保険金をお支払いする主な場合

- 清掃ボランティア活動中、転んでケガをして通院した。(ケガの補償)
- 活動に向かう途中、交通事故にあって亡くなられた。(ケガの補償)
- 活動中、食べた弁当でボランティア自身が食中毒になって入院した。(ケガの補償)
- 家事援助ボランティア活動で清掃中、誤って花びんを落としてこわした。(賠償責任の補償)
- 自転車ボランティア活動に向かう途中、誤って他人にケガをさせた。(賠償責任の補償)

ボランティア行事用保険

(傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険)

地域福祉活動や
ボランティア活動の
さまざまな行事における
ケガ、賠償(主催者責任)
を補償!!

補償金額（保険金額）

Aプラン・Bプランとも(Aプランは熱中症危険補償特約セット)

保険金の種類		補償内容
ケガの補償	死亡保険金	400万円
	後遺障害保険金	400万円(限度額)
	入院保険金日額	3,500円
	手術 保険金	入院中の手術 35,000円
		外来の手術 17,500円
	通院保険金日額	2,200円
賠償責任	対人事故	1名・1事故 2億円(限度額)
	対物事故	1事故 1,000万円(限度額)

※賠償責任の補償の限度額は、補償の対象となるリスクの種類ごとに適用されます。

保険料（1名あたり）

※A1、A2、A3の行事の内容は、パンフレットをご覧ください。

Aプラン (宿泊を伴わない行事)		
A1の行事	A2の行事	A3の行事
1日 28円 (最低保険料 560円) (最低加入人数 20名)	1日 126円 (最低保険料 2,520円) (最低加入人数 20名)	1日 248円 (最低保険料 4,960円) (最低加入人数 20名)
Bプラン (宿泊を伴う行事)		
1泊2日(2日間)	239円	4泊5日(5日間) 352円
2泊3日(3日間)	293円	5泊6日(6日間) 357円
3泊4日(4日間)	298円	6泊7日(7日間) 362円

※Aプランにおける区分は、開催する行事の内容によって異なります。パンフレットにない行事は別途お問い合わせください。

※Bプランの行事で上記以外の日程につきましては、別途お問い合わせください。

送迎サービス補償

(傷害保険)

- ◆送迎・移送サービス中の自動車事故などによるケガを補償!

福祉サービス総合補償

(傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

- ◆ヘルパー・ケアマネジャーなどの活動中のケガや賠償責任を補償!

●お申込み、パンフレット・詳しい内容のお問い合わせは、あなたの地域の社会福祉協議会へ●

団体契約者 社会福祉法人 全国社会福祉協議会

〈引受幹事 損害保険ジャパン日本興亜株式会社 医療・福祉開発部 第三課
TEL:03(3593)6824
受付時間:平日の9:00~17:00(土日・祝日、12/31~1/3を除きます。)

取扱代理店 株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL:03(3581)4667 FAX:03(3581)4763
営業時間:平日の9:30~17:30(12/29~1/3を除きます。)

●この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。